

東北地区 大学図書館協議會誌

第 66 号
平成 27 年 4 月



岩手大学図書館

	表紙裏面
加盟館一覧	
寄稿 リニューアル図書館からの報告	1
第 69 回東北地区大学図書館協議会総会	13
日程	13
総会資料	14
講演会資料	24
総会議事メモ	28
出席者名簿	30
図書館統計年報	33
協議会総会当番地区・当番大学	36
東北地区大学図書館協議会役員館一覧	37
東北地区大学図書館協議会会則等	38
加盟館職員名簿	49

東北地区大学図書館協議会加盟館一覧

(国立 15 館)			
弘前大学附属図書館	036-8560	弘前市文京町 1	(0172)39-3155
岩手大学図書館	020-8550	盛岡市上田 3-18-8	(019)621-6082
東北大学附属図書館	980-8576	仙台市青葉区川内 27-1	(022)795-5911
同 医学分館	980-8575	仙台市青葉区星陵町 1-1	(022)717-7973
同 北青葉山分館	980-8578	仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3	(022)795-6368
同 工学分館	980-8579	仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-03	(022)795-5892
同 農学分館	981-8555	仙台市青葉区堤通雨宮町 1-1	(022)717-8882
宮城教育大学附属図書館	980-0845	仙台市青葉区荒巻字青葉 149	(022)214-3348
秋田大学附属図書館	010-8502	秋田市手形学園町 1-1	(018)889-2273
同 医学図書館	010-8543	秋田市本道 1-1-1	(018)884-6052
山形大学小白川図書館	990-8560	山形市小白川町 1-4-12	(023)628-4904
同 医学部図書館	990-9585	山形市飯田西 2-2-2	(023)628-5054
同 工学部図書館	992-8510	米沢市城南 4-3-16	(0238)26-3019
同 農学部図書館	997-0037	鶴岡市若葉町 1-23	(0235)28-2810
福島大学附属図書館	960-1293	福島市金谷川 1	(024)548-8083
(公立 12 館)			
青森公立大学図書館	030-0196	青森市合子沢字山崎 153-4	(017)764-1551
青森県立保健大学附属図書館	030-8505	青森市大字浜館字間瀬 58-1	(017)765-2011
岩手県立大学メディアセンター	020-0693	岩手県滝沢市菓子 152-52	(019)694-2070
宮城大学総合情報センター	981-3298	宮城県黒川郡大和町学苑 1-1	(022)377-8313
秋田県立大学図書・情報センター	010-0195	秋田市下新城中野字街道端西 241-438	(018)872-1561
秋田公立美術大学附属図書館	010-1632	秋田市新屋大川町 12-3	(018)888-8106
国際教養大学中嶋記念図書館	010-1292	秋田市雄和椿川字奥椿岱 193-2	(018)886-5907
山形県立保健医療大学附属図書館	990-2212	山形市上柳 260	(023)686-6671
山形県公立大学法人附属図書館	992-0025	米沢市通町 6-15-1	(0238)22-7334
会津大学情報センター附属図書館	965-8580	会津若松市一箕町鶴賀	(0242)37-2545
会津大学短期大学部附属図書館	965-8570	会津若松市一箕町大字八幡字門田 1-1	(0242)37-2458
福島県立医科大学附属学術情報センター	960-1297	福島市光が丘 1	(024)547-1687
(私立 38 館)			
青森大学附属図書館	030-0943	青森市幸畑 2-3-1	(017)738-2001
東北女子大学附属図書館	036-8530	弘前市大字清原 1-1-16	(0172)33-2289
八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館	031-8588	八戸市美保野 13-98	(0178)30-1695
八戸工業大学図書館	031-8501	八戸市大字妙字大開 88-1	(0178)25-8032
弘前学院大学附属図書館	036-8577	弘前市稔町 13-1	(0172)34-5211
青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター	030-0132	青森市横内字神田 12	(017)728-0131
岩手医科大学附属図書館	020-8505	盛岡市内丸 19-1	(019)651-5111
富士大学図書館	025-8501	花巻市下根子 450-3	(0198)22-4986
盛岡大学図書館	020-0694	岩手県滝沢市砂込 808	(019)688-5561
修紅短期大学図書館	021-0902	一関市萩荘字竹際 49-1	(0191)24-2211
岩手看護短期大学図書館	020-0751	岩手県滝沢市大釜千が窪 14-1	(019)687-3864
仙台大学附属図書館	989-1693	宮城県柴田郡柴田町船岡南 2-2-18	(0224)55-1399
仙台白百合女子大学図書館	981-3107	仙台市泉区本田町 6-1	(022)374-5090
石巻専修大学図書館	986-8580	石巻市南境新水戸 1	(0225)22-7718
東北学院大学中央図書館	980-8511	仙台市青葉区土樋 1-3-1	(022)264-6491
同 多賀城キャンパス図書館	985-8537	多賀城市中央 1-13-1	(022)368-1206
同 泉キャンパス図書館	981-3193	仙台市泉区天神沢 2-1-1	(022)375-1174
東北工業大学附属図書館	982-8577	仙台市太白区八木山香澄町 35-1	(022)305-3178
東北福祉大学図書館	981-8522	仙台市青葉区国見 1-8-1	(022)717-3319
東北文化学園大学総合情報センター図書館	981-8551	仙台市青葉区国見 6-45-1	(022)233-3878
東北薬科大学附属図書館	981-8558	仙台市青葉区小松島 4-4-1	(022)727-0061
宮城学院女子大学図書館	981-8557	仙台市青葉区桜ヶ丘 9-1-1	(022)279-5658
尚綱学院大学図書館	981-1295	名取市ゆりが丘 4-10-1	(022)381-3440
聖和学園短期大学図書館	981-3213	仙台市泉区南中山 5-5-2	(022)376-8257
仙台青葉学院短期大学図書館	984-0022	仙台市若林区五橋 3-5-75	(022)369-8003
東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館	981-8585	仙台市泉区虹の丘 1-18-2	(022)272-7518
ノースアジア大学附属図書館	010-8515	秋田市下北手桜守沢 46-1	(018)836-2406
東北芸術工科大学図書館	990-9530	山形市上桜田 3-4-5	(023)627-2044
羽陽学園短期大学附属図書館	994-0065	天童市大字清池 1559	(023)655-2385
東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館	990-2316	山形市片谷地 515	(023)688-7544
東北公益文科大学図書館	998-8580	酒田市飯森山 3-5-1	(0234)41-1177
いわき明星大学図書館	970-8551	いわき市中央台飯野 5-5-1	(0246)29-7121
奥羽大学図書館	963-8611	郡山市富田町字三角堂 31-1	(024)932-8931
郡山女子大学図書館	963-8503	郡山市開成 3-25-2	(024)932-4848
東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館	970-8567	いわき市平鎌田字寿金沢 37	(0246)35-0416
日本工科大学図書館	963-8642	郡山市田村町徳定字中河原 1	(024)956-8642
桜の聖母短期大学図書館情報センター	960-8585	福島市花園町 3-6	(024)534-7137
福島学院大学図書館情報センター	960-0181	福島市宮代乳児池 1-1	(024)553-2087

第69回東北地区大学図書館協議会総会



東北大学 植木図書館長



岩手大学 横山図書館長（副学長）



総会風景



講演会講師 井上真琴氏（同志社大学）



講演会風景



国立大学部会風景



公立大学部会風景



私立大学部会風景

地域に開かれた " 知の交錯する場所 " へ：弘前大学附属図書館

弘前大学附属図書館学術情報課長

三 上 豊



図1 正門から見える大型壁面サインが設置された附属図書館の外観

はじめに

弘前大学附属図書館は平成 25 年 9 月～平成 26 年 7 月までの耐震改修工事を終え、平成 26 年 10 月にリニューアルオープンした。改修により、多様な学習環境を提供するため取り組んできた「学びの場」としての「ラーニングコモンズ」（弘前大学ではアクティブ・ラーニング・エリア、グループ・ラーニング・ルームとして運用）の拡充、閲覧室の機能改善など学習環境の整備充実を図った。

附属図書館の建物は、昭和 45 年建設の本館（改修前の棟名称：旧館）と雑誌棟（改修前の棟名称：新館）から成り、今回の耐震改修工事は本館部分で 44 年ぶりの改修となった。附属図書館の目印だった外階段がなくなり、代わりに大学正門からでもはっきりわかる大きな壁面サインが設置された。

1. 利用者入口

利用者は今まで北側外階段で 2 階から入館しなければならなかった。冬期間、凍結による転倒事故等が懸念され危険性があり、不便だったため、リニューアルにより利用者入口を東側総合教育棟側 1 階に変更し、安全性に配慮した。（図 2）

2. 震災対策とバリアフリー化

東日本大震災における天井等落下被害が多かったことで、天井の脱落防止対策として 1・2 階閲覧室の天井は貼っていない。天井がないことにより、工事費用は低く抑えられたが、暖房効率が悪くなったと思われる。

幅の狭かった階段は震災時における避難経路として安全確保の観点から拡幅を行った。

また、車椅子等利用者は改修前、雑誌棟 1 階の専用入口から 2 階閲覧室までの導線が長く不便だったが、リニューアルにより 1 階利用者入口から入ることが可能となった。また、1 階には多目的トイレを整備し、車椅子等利用導線の改善となるエレベーターを新たに設置した。（図 3）



図2 新しい利用者入口 図3 多目的トイレ

3. サービスカウンター

メインカウンターと参考調査カウンターに分かれていたカウンターを統合し、1階利用者入口付近にサービスカウンターを配置し、ワンストップサービスを目指すこととした。(図4)

4. サイン(案内板)

リニューアルに合わせて館内サインを一新し、利用者にわかりやすく、統一的なサインとした。案内板下部には地元伝統工芸の「こぎん刺し」をデザインし、利用者入口やアクティブ・ラーニング・エリア入口のガラスには衝突防止サインとして弘前市の花「さくら」をデザインした。

5. アクティブ・ラーニング・エリアとグループ・ラーニング・ルーム

平成23年10月、3階にラーニングスペース・スクエアをオープンしているが、リニューアルに合わせて2階にアクティブ・ラーニング・エリアとグループ・ラーニング・ルームをオープンし、更なる学修環境の充実を図った。2・3階には無線LAN環境も整備した。2階新設にあたり、3階の名称もアクティブ・ラーニング・エリア、グループ・ラーニング・ルームに変更した。(図5)

5.1 アクティブ・ラーニング・エリア(個別学習エリア)18席

キャスター付椅子により自由に動いて、自由に座ることができる。座面下にかばん置きが付いている。エリア内には

- 囲う=ロールスクリーン 4枚
- 書く・貼る=ホワイトボード 4枚
- 映す=プロジェクタスクリーン 1枚

の設備がある。ここのエリアは予約不要で誰でも利用できる。(図6)

5.2 グループ・ラーニング・ルーム(グループ学習エリア)1~2室 各8席 計16席

弧を描く配置もしやすいテーブルとキャスター付チェアで様々なレイアウトができる。スライディングウォールにより1室8~16席の部屋にすることができる。

エリア内には

- 電子ホワイトボード(カラープリンタ付)2台
- レクチャーテーブル1台
- プロジェクト台1台
- 電動スクリーン1台

の設備がある。



図4 1階サービスカウンター



図5 2階ラーニングコモンズフロア図



図6 2階アクティブ・ラーニング・エリア

このエリアは予約が必要となり、利用の際は直接カウンターに申し込むか、図書館 HP の My Library から申請することになる。(図 7)

5.3 オープンラウンジ、オープンテラス

蓋付き飲料持ち込み可能なリフレッシュコーナーとしてオープンラウンジを整備した。オープンラウンジには 36 席 (内カウンター席 8 席) ある。また、改修前の利用者入口だった場所をオープンテラスとして活用し、テーブルや椅子を置いて休憩場所とした。(図 8)

6. 学習環境の整備充実

閲覧室を 1～2 階に配置し、利用者の利便性を図り、1 階閲覧室南側には閲覧席を新設、キャレルデスク・椅子を更新した。

6.1 1 階閲覧室南側

地元伝統工芸品の「こぎん刺し」のデスクトップパネルや「ブナコ」のペンダントランプを配置し、窓際カウンター席 (ハイカウンター) 24 席、4 人掛けテーブル席 36 席を用意した。テーブル席には PC 用コンセントとタスクライトを設置した。また、アンダーカーペット配線を導入し、配線モールをなくした。(図 9)

6.2 1・2 階閲覧室

1 階閲覧室に新着新聞、参考図書、2 階閲覧室に一般図書、新着雑誌、文庫・新書コーナー、コレクションコーナー (太宰治研究文庫、加藤謙一文庫、津軽学コーナーなど) を配置し、雑誌棟 2 階旧参考図書室は閲覧室 (96 席) として整備した。

6.3 キャレルデスク・椅子の更新

1 階閲覧室 40 席、2 階閲覧室 76 席合わせて 116 席を一新した。キャレルデスクには 1 脚毎に照明とかばん掛けフックが付いた。(図 10)



図 7 2 階グループ・ラーニング・ルーム



図 8 2 階オープンラウンジ



図 9 1 階閲覧室南側



図 10 更新されたキャレルデスクと椅子

7. 資料収蔵能力の向上、その他

改修部分にあった第1書庫(改修前名称:旧書庫)は収蔵能力の関係から昔ながらの積層書庫(5層)を残した。

さらなる蔵書収納スペース確保のために1階に手動式集密書架を新設し、約9万9千冊の資料収蔵能力を向上させた。

新規導入した集密書架はメンテナンス不要の手動式で、地震エネルギーを小さくする免震移動棚となっている。また、壁面には地震時に資料の落下を軽減することができる傾斜スライド棚の固定書架を設置した。(図11)



図11 手動式集密書架と壁面固定書架

8. リニューアル後の利用者サービス

整備した施設等のほか、リニューアルに合わせて利用者サービス等を一部変更した。

①サービスカウンターの統合

②全資料開架式

改修前、書庫入庫は入庫対象者を制限し、手続きが必要だったが、利用者に多くの資料を直接見てもらおうと貴重資料、コレクション類など一部の資料を除いて開架方式とし、誰でも(図書館利用者すべて)入れるようにした。

③館内の一部で飲用可

オープンラウンジ及びオープンテラスに限り、蓋付き飲料のみ許可することとした。

④資料配置の変更

第1書庫(旧名称:旧書庫)を図書、第2書庫(旧名称:新書庫)を雑誌に配置変更した。

9. 今後について

リニューアルオープンして半年が過ぎたが、平成26年10月～平成27年3月の入館者数は約9万4千人で改修前の平成24年度の同時期と比較してほぼ同数だったが、貸出冊数が若干増えており、全資料開架式に移行したことの効果と思われる。また、学外者の入館者数も平成24年度の同時期と比較して、1.4倍と増えており、地域貢献への一助となっていると思われる。

今後、大学図書館は「学術情報や知識の集積」という従来の役目に加え、新たに「地域に開かれた知の交錯する場所」としての使命を担っていく。具体的には学生たちの教育・研究支援を第一義に、資料や情報のデジタル化によって利便性を高めながら、図書館が主体となって市民や中高生に向けて開催する講演会、また「太宰治自筆ノート」など所蔵する貴重資料の公開など視野に入れた企画なども進めていく予定である。図書館で知識の交流が生まれ、新たな利用機会が広がることが大いに期待される。

教員養成大学としての図書館の在り方を考える:宮城教育大学附属図書館

宮城教育大学附属図書館学術情報課学術サービス係長
渡 邊 愛 子

宮城教育大学は、本年10月18日、創立50周年をむかえる。学生約1,500名、大学院生約100名、教職員約200名である。平成24年の秋から、当館にふさわしいラーニング・コモンズの検討を始めた。学長の理解と強い支持を得ることができ、平成26年4月に図書館1階にスパイラル・ラボを中心とする議論やグループ学修を推進するスペース、同10月に2階に個人の学修を保障するスペースが完成した。

3,000 m²弱しかない建物全体をラーニング・コモンズにとらえた当館の構想と設置した施設及び利用の状況を紹介する。

1. 教科書を起点に据えた学修空間

教科書を使って授業案を立て、実際に模擬授業を行う、というのが本学の学生の最も重要な活動の一つである。卒業生の6割が教員になる学生たちの活動に特化した学修空間を計画した。

1.1 教科書・指導書コーナー

授業案を立てるためには、当然、現在利用されている教科書が必要となる。教科書・指導書コーナーは、図書館入口の近くにあるが、閲覧席が狭く、大勢が立ち読みで利用していた。そこで、ここに閲覧席を設けようと考えた。立ち読みが多かったので、立ったまま利用できる席と、座って利用できる席を設けた。(図1)



図1 教科書・指導書コーナー

1.2 スパイラル・ラボ

リニューアル・オープンした図書館の目玉は、スパイラル・ラボである。もともと会議室として利用されていた部屋を改装し、什器の配置によって3つのコーナーに分けた。(図2)

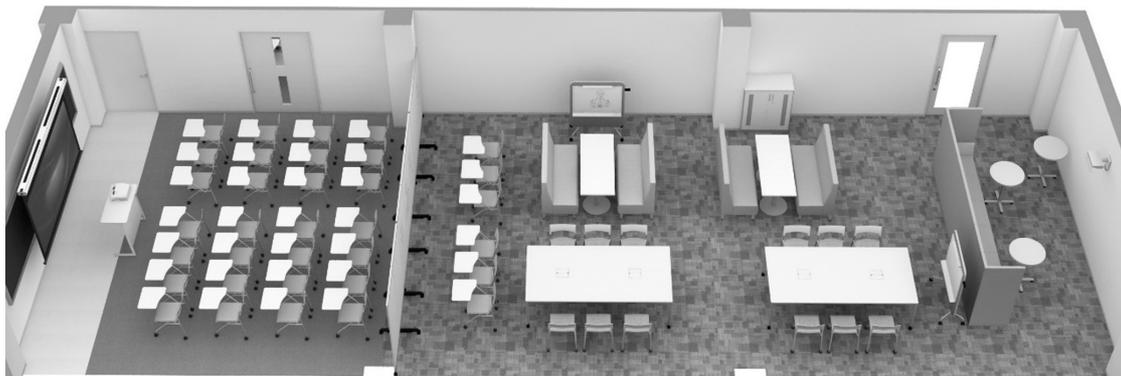


図2 スパイラル・ラボ

小学校サイズの黒板を設置した教室コーナーは、教科書・指導書コーナーで作成した授業案をすぐに実践できるようにと考えた。50席まで展開できる机付き椅子を用意した。すべての什器は可動式であり、部屋全体を利用して講演会等の会場にもできる。(図3)

部屋の中央には、作業がしやすい大テーブルのグループ席、背が高めのソファで打ち合わせに集中できる席を用意した。模擬授業の後、グループで反省会をして、また、教科書・指導書コーナーに戻ってよりよい授業案を立てるサイクルをイメージした。「スパイラル」も、計画、実践、振り返りを繰り返しながらよりよいものを作っていく、上昇のスパイラルから名前を付けた。(図4)

教室コーナーの反対側には、電子黒板を用意した。本学附属学校を初めてとして、学校の現場には電子黒板、iPadなどの機器の普及が進んでいる。しかし、計画段階では、特定の研究室に所属する学生が、電子黒板を利用できるだけの状況であった。興味関心のある学生が、いつでも利用できる電子黒板があるべきと考え、1台設置した。(図5)

昨年4月のリニューアル以降、教科書・指導書コーナーでは、一人で教科書を読んでいる学生のほかに、教科書を広げて、数人で相談しながら、授業案を作成する姿をしばしば見かけるようになった。スパイラル・ラボでの模擬授業も盛んに行われている。教員採用試験の2次試験に模擬授業が課されていることから昨年9月前半は、予約がいっぱいの状況が続いた。

学生の自主的な利用のほか、英語、司書教諭関連授業等、正規の授業でも利用されている。入館者はおよそ1割増えたが、これがほぼ、スパイラル・ラボの利用申し込み人数に一致している。



図3 スパイラル・ラボ (教室コーナー)

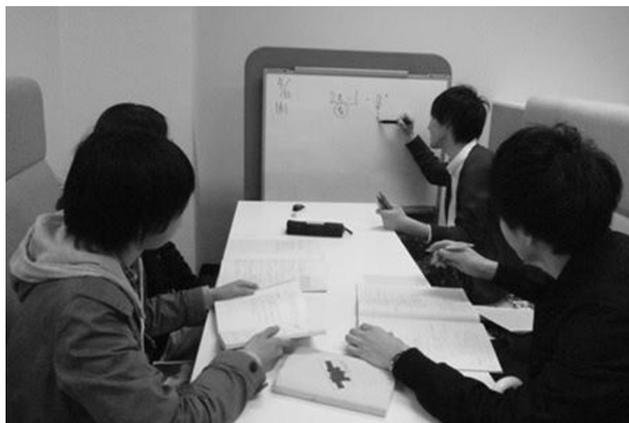


図4 スパイラル・ラボ (グループ席)



図5 スパイラル・ラボ (電子黒板)

2. それぞれに学修する場

1階は、グループで学修する場としたが、当然一人で集中して学修する場の需要も想定される。スパイラル・ラボのオープン時は2階全体を静かに学修する場としてゾーニングし、利用ルールとして積極的に広報をした。その一方で第2期として整備を行うべく計画を進めた。

2.1 プライベート・ラボ

2階奥の閲覧室は、スパイラル・ラボと対称的なスペースとしてプライベート・ラボと名付けた。資料やPCを広げられる160cm幅の机に仕切りも設けて、15席の閲覧席とした。着席した時に、相互の視線が合わないように機の配置も工夫し、個人が長時間集中して作業できる席とした。ここは、従来から知る人ぞ知る、最も静かな閲覧席であった。しかし大きな閲覧テーブルに座るのは1人で、結局は、8人しか利用できなかったのを改善した。オープンは26年10月で、卒業論文の時期と重なり、毎日、ほぼ満席で利用されていた。(図6)

2.2 シンキング・ブース

2階のもう一つの広い閲覧席の窓際には、8席のそれぞれデザイン異なるソファ席を用意し、シンキング・ブースと名付けた。これは『新明解国語辞典』「読書」の解釈、「読書とは人生を考えるもの」をコンセプトとして計画した。静かにページをめくる姿が散見される。(図7)

当館では平成20年度に耐震改修工事を済ませていた。改修工事にあわせた大規模な改修はできなかったが、教員養成大学の学生の活動に着目して本学らしい特徴のあるラーニング・コモンズを設置できた。スパイラル・ラボでの数々の実践、静かな学修空間での内省が、本学の目指す「豊かな実践力と人間力あふれる教員の育成」の一助となることを願っている。



図6 プライベート・ラボ



図7 シンキング・ブース

利用者のための快適空間とアクティブラーニング・グローバルラーニング支援機能の実現 ： 東北大学附属図書館

東北大学附属図書館情報サービス課長
村上 康子

1. はじめに

昭和 47 年 10 月、当時、図書館建築の第一人者といわれた鬼頭梓氏の設計で竣工した東北大学附属図書館本館は、40 年余の時を経て、平成 26 年 10 月にリニューアルオープンを迎えた。平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災以降、震災復旧・補修、ラーニング・コモンズ設置、事務室改修、地下書庫南側電動集密書庫導入、貴重書庫改修の数々の工事を行い、今回の空調設備更新及び 1 号館改修工事を最後に、延約 3 年をかけた大改修が完了した。

本学の学生や研究者に快適な学習・研究環境を提供することを第一の目的とし、新たにアクティブラーニングやグローバル人材育成を支援する機能を加え、当館スタッフの数年来の希望がここに叶うこととなった。

2. 快適な図書館利用空間 : エコ対応空調設備の更新

当館は、年末年始を除く、1 年の半分以上の朝 8 時から夜 10 時の長時間、コンクリート打ちっぱなしの 1 号館 12,480 m²と隣接する 2 号館 5,735 m²の空間を常に快適に保つため、多くの費用をかけて冷暖房空調を維持しなくてはならない。以前は、外部の重油ボイラー温水による冷凍機運転方式の旧型設備のため、オン・オフのいずれかの室温調整のみで、利用者からは「暑すぎる」「寒すぎる」などの苦情が例年の風物詩であった。これらを解消するため、今回の改修工事の最大の目的として、エコ対応のガス直焚式の冷凍機運転による空調設備への転換と個別空調の整備、そして全館窓枠二重サッシ入れ替えによる快適な空間が実現した。費用的にも価格変動の大きい重油を使用せず、安定的なガスに切り替わり、節約も可能となった。またこの工事に際し、天井裏やコンクリート壁等を貫通しているダクトや旧設備の撤去を行う工事が伴うことから、利用者スペースも一緒に改修する契機ともなった。

リニューアル後初の冬季は、利用者からの「暑い、寒い」という苦情もなく、快適な利用環境を提供できたようである。真冬の間も館内が冷え切ってしまうことなく、効率のよい暖房が行えているようであった。当初、窓枠入れ替えによる外気との気温差が原因と思われる結露が見られる箇所もあったが、機械室での微調整と湿度管理によって、以降は問題なく対応することができた。これから、リニューアル後初の夏季を迎えることになるが、改修工事時は、臨時開館中の 2 号館で「暑い夏」を過ごした利用者にとって、例年以上に快適な夏の利用空間となることを願いたい。

また、今回の改修工事では、本学キャンパスデザイン室の取り計らいで、附属図書館周辺の景観改善に関する提案があった。川内キャンパスの自然の景観をいかして、北と南の両方のキャンパスから図書館までのアプローチが美しく演出されるような計画となっており、附属図書館エントランスロビーと手前の広場も同種の木目調のタイルを張り詰め、周辺の植栽との一体感を織りなした、広々とした美しい一つのフロアに仕上がった。平成 27 年 12 月に地下鉄東西線が開通した時の利用者の動線を考慮し、図書館の北側には、遊歩道がつけられており、夕方にはライトアップにより、美しい景観となる。



図1 エントランスへのアプローチ



図2 エントランスホール



図3 遊歩道

3. アクティブラーニング支援機能 : 共同学習、自学自修のための様々なスペース

本学の学生は、平日はもちろん、土曜であろうが日曜であろうが、朝から晩までよく勉強する。ただし、各々の気に入った閲覧席でなくてはならないようであり、時には一人で、時には仲間との共同学習というように、目的に合わせて場所を選びながら館内に滞在している。その様子から、改修後の館内各所の様々なスタイルの閲覧席は、概ね学生のニーズに合ったものとなったようである。

平成24年度に設置したメインフロアの北側壁面に並ぶグループ学習室4室は、物置と化していた小部屋3室と元電話ボックスを改修した空間である。室内は丸見えのダクトがインテリアのように白く塗装され、各室の壁面全体にはディスカッション時に必要となるホワイトボードを設置した。ウェブサイトからの事前予約申請により利用を可能としている。

その他、改修工事後復活したメインフロアのラーニング・commonsのフレキシブルワークエリアやボックス席、前述のグローバル学習室は、予約なしでいつでもグループ学習が可能なラフなスペースとなっている。フリーのホワイトボードがよく利用され、活発なディスカッションの様子が見られる。フレキシブルワークエリアでのイベント開催については、事前予約申請としているが、授業、ゼミ、サークル活動、就職関連セミナー、時には学内の公式行事にも利用されている。

休憩用として設置しているラウンジや、今年4月にオープンしたSEATTLE'S BEST COFFEEのカフェテーブルにおいても、軽食を摂りながら共同学習を行う姿が見られる。気に入った場所であれば、すぐそこがグループ学習室になるようである。また、エントランスロビーの展示コーナーは、授業の成果発表やサークル活動展示、就職関連広報等、学生の活動発表の場として使用されている。

当館を利用する学生は、アクティブラーニングという学び方を自分たちの学修意欲のまま、自然に行っているような印象がある。当館では、担当している全学教育科目「大学生のためのレポート作成入門」の授業やオリエンテーション、講習会等において、多少それを意識した話はするが、図書館として積極的に推奨しているわけではない。授業の中でその方法を教授に教え込まれているのか、サークル活動の中で先輩から後輩へ伝えられているのか、あるいは低学年の学生が上級生の学びを模倣しているのか、学生がどこかで身に付けたスキルであると思われるが、それが当館によるものであるならば、様々なスペースが有効に利用されている証拠と認識したい。



図4 フレキシブルワークエリアでの公式行事



図5 グループ学習室での共同学習



図6 人気のボックス席



図7 ラウンジで共同学習



図8 カフェでディスカッション



図9 展示コーナーで成果発表

前述のような、グループで学ぶタイプの学生向けのものだけでなく、従来のように一人で静かに黙々と勉学に励む学生にも様々なタイプの閲覧席を用意した。当館を設計した鬼頭梓氏は、建築家らしく、斬新な小部屋を館内各所にデザインしている。元々は閲覧席として作られた場所ではないことが明らかな空間も、今回の工事に伴い、自学学習の利用者のための閲覧席にリニューアルした。

メインフロアが一望できる2階学生用閲覧室バルコニーに設置した通称「バルコニー席」、その延長上の小部屋に設置した白一色の閲覧室、キャレルが整然と並ぶ学生閲覧室の「キャレル席」、グローバル資料室には、デザインを重視したとみられる六角形の光取窓を活用した「カウンター席」や書架の裏面窓際を活用した隠れ家のような静かな「カウンター席」を特注で設置した。リニューアル後、有り合わせのソファを設置しただけの広いバルコニーは、しばらく閑散としていたため、使われずに積み上がっていたパソコンデスクと椅子とパーテーション、電気スタンドを駆使して学生が好きな「ぼっち席」にしたところ、よく利用されるようになった。また、学生閲覧室の不自然に広がる通路スペースにソファセットを数個おいたところ、いつの間にか学生がゆったりと読書をするスペースとして活用されるようになった。学生自身の学修意欲に従うまま自由に活用される閲覧席も、「アクティブラーニング（能動的学習）」のスペースのひとつであると思っている。

4. グローバルラーニング支援機能 : グローバルフロアの新設

昨今、大学の使命の一つとして「グローバル人材育成」なるキーワードが盛んに聞かれるようになり、本学の里見ビジョンにも謳われているが、当館においてもこれらのビジョンを支援するための機能を「グローバルフロア」として新設した。

そのうち、グローバル学習室は、留学生と本学学生の国際交流の場として機能させ、国際社会に貢献可能な人材を育成することを目的としている。ラーニング・コモンズの延長部分として、学生が自由にディスカッションを行い、交流を深めたり、イベントや授業、学会・研究会の開催が可能なスペースとなっている。他のスペースとの差別化を図り、カラフルなアクリル板を用いたラウンド型の白い書架を3箇所設け、学生が気軽に立ち寄れる雰囲気を作った。

この学習室の専有の際は、本学の構成員が「グローバルな活動を行うこと」を条件として、事前予約申請により使用を許可している。同時にスクリーンやプロジェクター等の貸出も可能となっており、学内関連部局(主に留学生課)や学生サークル・各種団体、研究室・ゼミによって、活発に利用されている。当館が担当する全学教育科目「大学生のためのレポート作成入門」の授業の際も、講義とグループディスカッションの場として使用している。

また、留学生向けには、日本文化を紹介するための多言語資料(コミック図書を含む)や、日本語習得のためのテキストなどを揃え、留学生コンシェルジュによる異文化展示等も行っている。さらに、これから留学を希望する本学の学生向けには、海外大学への留学情報や渡航に必要な資料、その他語学学習のためのテキストや雑誌を装備している。留学情報資料については、学内国際交流課から月1回のペースで、関連資料提供の協力を得ている。他に、全学教育科目において行われている英語多読学習用のリーダーズテキストについては、授業担当教員との連携を図り、約14,000冊を取り揃え、利用に供しており、履修が開始されると、学習室が連日学生たちで大変な賑わいとなる。



図10 定番のキャレル席



図11 特注のカウンター席



図12 バルコニーに設置したぼっち席

その隣のもう一つのスペースは、研究個室4つを含むグローバル資料室として、国連寄託図書館・EU情報センターの機能を果たすために関連資料を2号館より移設し、また東日本大震災に関する資料を国内外の利用者に提供するために「震災ライブラリー」を設置し、約4,000点からなるコレクションを公開している。手始めに去る平成27年3月14日から18日に渡って開催された「第3回国連防災世界会議」のパブリックフォーラム会場の一つとして、国内外の来館者が見学した。この部屋は窓際や光取窓にカウンター席を設け、中央にはキャレルを設置し、自学学修を目的とした静寂エリアとして、主に学部高学年の学生や院生によく利用されている。かつて8室あった狭い研究個室は、2室を1室に統合改修し、計4室となり、現在では広々とした贅沢な研究空間に生まれ変わった。

このフロアの半分は、元々事務スペースであり、もう半分は時代とともにその機能が失われて使用されなくなった利用者スペースの一部だった。今回の改修工事によって、事務室を1階に統合し、館長室、副館長室、会議室を再配置させ、残りの全てが利用者スペースとして、息を吹き返した。少しでも多くの利用者が、当館で学び、様々な英知を身に付け、国際社会へ貢献できることになれば、嬉しい限りである。

5. 資料の機能的再配置 : 地下書庫完全電動集密書架化、学生用閲覧室書架の更新、2号館書架増設、貴重書庫改修

久しく図書が溢れた状態にあった地下書庫は、南側の起立棚を電動集密書架に変更したところ、40万冊分の収蔵冊数が増大することとなった。この工事を機に、幾度かの雨漏り被害に遭っていた「狩野文庫」「古典資料」を2号館4階の閲覧室と元大会議室に移設し、同フロアの貴重書庫も気密性・保存性の高い宝物庫のような書庫に改修し、国宝や漱石文庫等を収蔵している。

同じく、学生用の教養書やテキストで溢れていた学生用閲覧室2階の書架も一新し、最大20万冊を収蔵可能にした。中央にあったコンクリートのカウンター席を取り払う大工事を行い、フラットな整然とした並びの使いやすい配置にした。収蔵力を上げるため背の高い書架を導入したのではあるが、圧迫感や閉鎖感を感じないように、側板をメッシュタイプに変更し、透過性のある空間を意識した。

また、学生閲覧室2階の旧書架は2号館に移設し、こちらも溢れた製本雑誌の収蔵スペースとして再活用されることとなった。

これらの資料再配置により、当館だけで約320万冊の図書を収蔵することができるようになった。



図13 グローバル学習室



図14 イベントで賑わうグローバル学習室

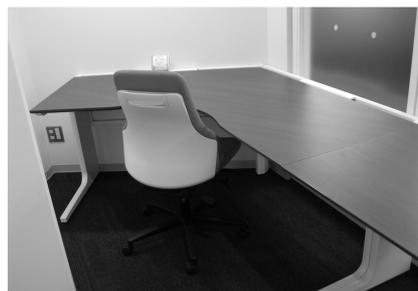


図15 広がった研究個室



図16 地下電動集密書架



図17 2階学生用閲覧室書架



図18 レファレンス図書用書架

6. 図書館機能のさらなる充実のために : スタッフができること

今回の大改修は、当館をいつか使いやすく効率的な空間にしたいという、まさに当館スタッフの願いであった。平成20年前後より、書庫の狭隘化打開のプランに始まり、平成21年度には図書館資料と各種スペースの再配置を行うため、「本館スペースWG」が結成され、可能な限りの新プランが検討されてきた。当時「多額の経費がかかるだろうから、あくまでも希望に終わるかもしれない」という思いの中で、利用者スペースを拡大するために事務室をワンフロアにどうにかまとめようと、あらゆる部分を採寸しフロアサンプルを作成したこと、資料の再配置のために館内中の書架棚数を数え歩いたこと、古い参考図書で埋まっていた当時のメインフロアをラーニング・コモンズにするべくプランニングしたこと。また、頻繁に雨漏りを繰り返す地下書庫から「江戸学の宝庫である狩野文庫」や「世界唯一の和算資料」貴重な「古典資料」を救済するために、2号館4階に貴重資料を移動させようと試行錯誤したこと、地下書庫南側に電動集密書架を導入するための予算取りに苦戦したこと等々。5年後の今、そのプランのほとんどが現実のものとなり、多かれ少なかれ改修に関わってきたスタッフは、感慨深く感じていることと思う。

どんなに立派な施設や設備も、それらを運営し、機能させることができるのは人である。当館も改修され、施設・設備が整備された今、これで完成ということではなく、これから先、我々スタッフには当該機能を学生の学修や研究者の調査・研究のために、さらに有効活用いただけるように、日々の図書館サービス充実への研鑽が待っている。これからの東北大学附属図書館がどのような成長を遂げるのか、ご期待いただければ幸いです。

第 69 回東北地区大学図書館協議会総会日程

開催日 平成26年9月26日(金)
会場 岩手大学図書館 2階 「生涯学習・多目的学習室」
盛岡市上田三丁目18番8号
Tel: 019-621-6082 (岩手大学図書館学術情報課総務グループ)

- 日程
1. 受付 12:30~13:00
 2. 開会式 13:00~13:10
 - (1) 開会の挨拶
常任幹事館 東北大学附属図書館
館長 植木俊哉
 - (2) 歓迎の挨拶
当番大学 岩手大学
副学長(図書館長) 横山英信
 3. 議長選出
 4. 総会
 - (1) 報告事項 13:10~13:30
 - ①平成25年度会務報告について
 - ②平成25年度一般報告について
 - ③その他
 - (2) 協議事項 13:30~14:00
 - ①平成25年度決算報告(案)について
 - ②平成25年度記念事業基金決算報告(案)について
 - ③平成25年度会計監査報告について
 - ④平成26年度事業計画(案)について
 - ⑤平成26年度予算(案)について
 - ⑥平成26年度記念事業基金予算(案)について
 - ⑦第70回総会の当番地区(館)について
 - ⑧その他
 - (3) その他
 5. 講演会 14:00~15:00
演題: ラーニング・コモンズの活かし方
ー同志社大学はこう創り、こう運営するー
講師: 井上真琴(同志社大学 教育支援機構 学習支援・教育開発センター事務長)
 - (休憩 15:00~15:20)
 6. 部会 15:20~16:00
 - 国立大学部会 図書館 1階 会議室
 - 公立大学部会 図書館 4階 演習室
 - 私立大学部会 図書館 2階 生涯学習・多目的学習室
 7. 全体会議 16:00~16:50
 - ①各部会からの報告
 - ②質疑応答
 8. 閉会式 16:50~17:15
 - (1) 次期当番館挨拶
 - (2) 閉会の挨拶 常任幹事館 東北大学附属図書館

第69回総会資料

平成25年度 会務報告

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

八戸工業大学を当番校として開催した第68回総会(平成25年9月)以降の会務について、以下の通り報告する。

1. 平成25年度東北大学附属図書館職員総合研修会
(後援)
日 時：平成25年12月16日(月)
場 所：東北大学川内北キャンパスB203教室
参加者：63名
テーマ：「新たな図書館目録規則『RDA』を学ぶ」
講 演：「RDA概論」高野真理子
(NPO法人大学図書館支援機構)
「米国におけるRDAの現状」村上 遙
(東京外国語大学学術情報課)
2. 平成25年度国立大学図書館協会東北地区協会職員研修会
(後援)
日 時：平成26年1月27日(月)
場 所：岩手大学情報メディアセンター図書館2階生涯
学習・多目的学習室
参加者：36名
テーマ：「そのメッセージ伝わっていますか?～伝わる
掲示・ポスターをつくらう!～」
講 演：「思いが伝わるデザイン・レイアウトの壺」
真山正太(一般社団法人メディアデザイン理事)
グループワーク：「みんなでPOP作成!」
3. 協議会誌の刊行
協議会誌第65号を刊行し、平成26年7月に加盟館
及び国立国会図書館等に配付した。
4. 平成25年度合同研修会の実施
日 時：平成26年8月26日(火)
場 所：東北学院大学土樋キャンパス8号館3階
第3・第4会議室
テ ー マ：「アクティブラーニングとは何か?その実践
とは?：アクティブラーニングを通じて大
学図書館と大学のつながりを考える」
企画担当：東北地区大学図書館協議会大学教育部会
参 加 者：22名
基調講演：「アクティブラーニングの共通理解」、
講師：杉本和弘(東北大学高度教養教育・
学生支援機構准教授)
グループワーク

5. 平成25年度末(平成26年8月)の加盟館数
本協議会の加盟館数は、国立大学15館、公立大学1
2館、私立大学38館の、合計65館となっている。

平成25年度 一般報告

—国公立大学図書館等の動向—

(常任幹事館：東北大学附属図書館)

○第74回国公立大学図書館協力委員会

(平成25年7月26日 大阪市立大学)

報告事項

- ・委員長館会務報告(委員長館が、横浜市立大学から
早稲田大学に)
- ・「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
- ・「大学図書館研究」編集委員会報告
- ・大学図書館著作権検討委員会報告
- ・シンポジウム企画・運営委員会報告
- ・GIFプロジェクトチーム報告
- ・専門委員会会計監査報告
- ・学位論文電子化に関するワーキング・グループ報告
- ・大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告

協議事項

- ・『大学図書館研究』の今後の刊行形態について
- ・大学刊行の定期刊行物に関する著作権法第31条第1項
第1号の「発行後相当期間」の扱いについて
- ・次期委員長館の選出について

○第75回国公立大学図書館協力委員会

(平成25年11月29日 早稲田大学)

報告事項

- ・委員長館会務報告(早稲田大学)
- ・「大学図書館協力ニュース」編集委員会報告
- ・「大学図書館研究」編集委員会報告
- ・大学図書館著作権検討委員会報告
- ・シンポジウム企画・運営委員会報告
- ・GIFプロジェクトチーム報告
- ・大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)
報告
- ・SCOAP³報告

協議事項

- ・平成24年度決算(案)および監査報告について
- ・平成25年度予算(案)について
- ・監事館の選出について

○平成25年度大学図書館シンポジウム

日時：平成25年10月31日（木）

場所：パシフィコ横浜

テーマ：「The University Library of the Future 大学図書館の未来」

参加者：232名

国立大学部会関係

（幹事館：東北大学）

○平成25年度国立大学図書館協会秋季理事会

（平成25年10月24日 北海道大学）

報告事項

- (1) 第60回総会等について
- (2) 各委員会等報告
- (3) 地区助成事業申請状況報告
- (4) 各地区協会報告
- (5) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (6) 日本図書館協会関連報告
- (7) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (8) その他

協議事項

- (1) 協会の会則等の見直しについて
- (2) 総会等の日程の見直しについて
- (3) 平成26年度海外派遣事業の実施について
- (4) 平成26年度国立大学図書館協会マネジメント・セミナーについて

○平成25年度国立大学図書館協会東北地区事務連絡会議

（平成25年11月8日 弘前大学）

報告事項

- (1) 平成25年度国立大学図書館協会秋季理事会について
- (2) 国立大学法人等採用試験（図書系）について
- (3) 職員の企画・運営による職員のためのワークショップ（第5期）について

協議事項

- (1) 平成26年度目録システム地域講習会等の実施について
- (2) 国立大学図書館協会の会則等の見直しについて
- (3) 国立大学図書館協会総会等の日程の見直しについて
- (4) アクティブラーニングのためのファシリティ及び支援サービスの整備状況について
- (5) 教職員・学生との連携による教育・学習支援活動の実施状況について
- (6) その他

承合事項

- (1) 学修支援スタッフの活用状況について
- (2) 図書館における情報リテラシー教育の実施状況及びそのための人材育成について

○第46回国立七大学附属図書館事務部課長会議

（平成26年3月14日 大阪大学）

協議事項

- (1) 教育学修支援について
- (2) 電子ジャーナルの維持について
- (3) 大学図書館の組織運営等について

承合事項

- (1) 図書館の増改築工事の実施状況について
- (2) 図書館事務組織の統合及び業務集約化

○第87次国立七大学附属図書館協議会

（平成26年3月14日 大阪大学）

1. 文部科学省所管事項説明
2. 国立情報学研究所報告
3. 協議事項

- (1) 将来構想・計画について
- (2) 教育学修支援について
- (3) 電子ジャーナルの維持について
- (4) 国立七大学図書館協議会の開催日程について

4. 承合事項

- (1) 平成24年度中央図書館における購入図書の整備について

○第44回国立大学図書館協会東北地区協会総会

（平成26年4月26日 弘前大学）

報告事項

- (1) 国立大学図書館協会理事会について
- (2) 目録システム地域講習会等について

協議事項

- (1) 国立大学図書館協会東北地区理事館・監事館・当番館等について
- (2) 第60回国立大学協会総会に向けての準備事項等について

承合事項

- (1) 電子ジャーナル経費の財源等について

○平成25年度国立大学図書館協会新理事会

（平成26年5月14日 東京大学）

報告事項

- (1) 各委員会等報告

- (2) 各地区協会報告
- (3) 地区協会助成事業報告
- (4) 国公立大学図書館協力委員会報告
- (5) 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)報告
- (6) 日本図書館協会報告
- (7) その他

協議事項

- (1) 会長及び副会長選出
- (2) 理事館の担当について
- (3) 平成25年度決算(案)について
- (4) 平成26年度事業計画(案)について
- (5) 平成26年度予算(案)について
- (6) 関係団体への派遣役員について
- (7) 会則等の見直しについて
- (8) 総会等の日程の見直しについて
- (9) 第61回総会について
- (10) 第62回総会の当番館・日程等について
- (11) その他

○第61回国立大学図書館協会総会

(平成26年6月19日 東京学芸大学)

1. 報告事項

- (1) 一般経過報告

2. 協議事項

- (1) 平成25年度決算報告・同監査報告について
- (2) 平成25年度記念基金決算報告・同監査報告について
- (3) 会則等の改正について
- (4) 平成26年度事業計画(案)について
- (5) 委員会設置要項の改正について
- (6) 平成26年度予算(案)について

3. 文部科学省所管事項説明

4. 国立情報学研究所事業説明

5. 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)事業説明

6. 国立大学図書館協会賞表彰式

- ①島根大学附属図書館が代表機関として構築・推進している「全国遺跡資料リポジトリ」プロジェクト事業の事務局としての活動

7. 研究集会

- (1) 海外派遣報告

- ①フィンランドの大学図書館における学習支援
- ②ETD 2013 Hong Kong: 16th International Symposium on Electronic Theses and

Disertations

- ③北米図書館におけるRDA実践に関する実態調査
- ④IFLA WLIC2013の参加及びシンガポールの大学図書館の訪問調査
- (2) 委員会成果報告
学術情報委員会の平成25年度活動成果報告
- (3) テーマ報告
電子ジャーナルの安定的な整備・提供について

公立大学部会関係

(幹事館 山形県公立大学法人附属図書館)

○第24回(平成26年度)公立大学協会図書館協議会事務長会

期日:平成26年6月5日(木)

会場:ローズホテル横浜

開催館:横浜市立大学学術情報センター

承合事項

- (1)教員転出に伴う図書館資料の移動について
- (2)著作権処理に関するフロー及び規定について
- (3)複写等料金等の学内取り扱いについて
- (4)図書館内の耐震工事等の実施状況について
- (5)電子ジャーナル及び洋雑誌の値上げに対する対応について

事例報告

「電子ジャーナル及び洋雑誌の値上げに対する対応」

- (1)大阪府立大学 赤崎 久美氏
- (2)県立広島大学 芳原 明宏氏
- (3)札幌医科大学 池崎 康氏

○第46回(平成26年度)公立大学協会図書館協議会総会

期日:平成26年6月6日(金)

会場:ローズホテル横浜

ザ・グランドローズボールルーム

開催館:横浜市立大学学術情報センター

文部科学省行政説明

文部科学省 研究振興局参事官(情報担当) 付
参事官補佐 松本 昌三氏

基調講演

「函館における大学図書館連携の試み:Library Linkについて」

公立はこだて未来大学 情報ライブラリー
司書 粟谷 禎子氏

議事

報告事項

- (1) 平成25年度事業報告
- (2) HP委員会報告

- (3) 地区活動報告
- (4) 関係委員会等報告
- (5) 事務長会報告
- (6) その他

協議事項

- (1) 役員の選出について
- (2) 関係委員会委員等の推薦について
- (3) 平成25年度決算報告及び監査報告
- (4) 平成26年度事業計画（案）について
- (5) 平成26年度予算（案）について
- (6) 大学図書館職員長期研修参加者の推薦について
- (7) 公立大学協会図書館協議会表彰規程による表彰について
- (8) 公立大学協会図書館協議会規程類の修正等について
- (9) 公立大学協会図書館協議会の理事及び委員等の選出について
- (10) 研修への職員派遣手続きについて
- (11) 会費の値下げについて
- (12) 公立大学協会との連携について
- (13) その他

○平成26年度公立短期大学図書館協議会総会

期 日：平成26年8月28日（木）

会 場：大月市立大月短期大学 大会議室

開催館：大月市立大月短期大学図書館

議 事

- (1) 報告事項
 - ① 平成26年度役員紹介
 - ② 平成25年度事業報告
 - ③ 平成25年度決算報告及び監査報告
 - ④ 平成25年度中部地区研究会活動報告
- (2) 協議事項
 - ① 平成26年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - ② 本協議会の今後の在り方について
 - ③ 平成27年度以降の「輪番表」について
- (3) その他
 - ① 平成27年度役員紹介
 - ② 承合事項

○平成26年度公立短期大学図書館協議会職員研修会

期 日：平成26年8月29日（金）

会 場：富士レークホテル 富岳の間

開催館：大月市立大月短期大学図書館

講 演

「アクティブラーニングと図書館

－図書館に求められる教育・学修支援について」

青山学院大学 准教授 野末 俊比古 氏

私立大学部会関係

（幹事館：東北学院大学、八戸学院大学・同短期大学）

私立大学図書館協会・東地区部会を中心に

（平成25年8月1日～平成26年7月31日）

加盟校 533校（2013年8月29日現在） 東地区部会269校

※東北地区加盟校（50音順） 25校

秋田看護福祉大学、石巻専修大学、いわき明星大学、奥羽大学、郡山女子大学、尚絅学院大学、仙台白百合女子大学、仙台大学、東北学院大学、東北芸術工科大学、東北工業大学、東北女子大学、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北文教大学・東北文教大学短期大学部、東北薬科大学、日本大学工学部、日本赤十字秋田看護大学、ノースアジア大学、八戸工業大学、八戸大学・八戸短期大学、東日本国際大学、富士大学、宮城学院女子大学、盛岡大学

○第74回（2013年度）私立大学図書館協会 総会・研究大会

日 時：2013年8月29日（木）～8月30日（金）

場 所：中京大学（名古屋キャンパス）

メインテーマ：「大学図書館の存在意義とその役割を再考する」

総 会

報告事項：

- 1. 会務報告（2012年度）
- 2. 委員会報告
- 3. 協会関連事項報告
- 4. 2013年度私立大学図書館協会役員校、委員会および協会関連団体委員

協議事項：

- 1. 2012年度一般会計・特別会計決算報告（案）
- 2. 2013年度事業計画（案）
- 3. 2013年度一般会計・特別会計予算（案）
- 4. 2013年度新規加盟校および脱退校（案）

記念講演

「ロシア正教会宣教師ニコライの『全日記』から

－日露戦争期を中心に－」

中京大学副学長・国際教養学部教授 安村 仁志 氏

研究大会

- 1. 2012年度海外集合研修報告

2. 2012年度研究助成発表

「図書館留学；教職協働の学習支援への取り組み
ー語学力の向上に向けてー」

神戸学院大学図書館 石原 明美 氏

3. 講演

・「大学図書館の機能再考」

筑波大学附属図書館副館長 加藤 信哉 氏

・「現代大学図書館の存在意義」

筑波大学図書館情報メディア系教授
逸村 裕 氏

II. 館長会

懇談テーマ：「図書館における学修支援と利用者教育」

III. 研究講演会

講演(1)「これからの大学図書館のための研修事業」

特定非営利活動法人 大学図書館支援機構

副理事長 高野 真理子 氏

講演(2)「大学図書館における電子書籍提供サービスの課題と展望」

専修大学 文学部教授 植村 八潮 氏

○2013年度私立大学図書館協会東地区部会研究部研修会

日 時：2013年11月14日（木）～11月15日（金）

会 場：桜美林大学（町田キャンパス）

テーマ：「みつけよう・伝えよう大学図書館の魅力」

参加者：62大学 64名

第1日

基調講演：「我が国大学の致命的欠陥

ー大学図書館は機能しているのか？ー」

桜美林大学大学院・大学アドミニストレーション研究科教授

諸星 裕 氏

講演：「大学図書館サバイバルのためのブランディング

戦略ーコンセプトメイクからデザインングへー」

帝京大学総合教育センター准教授 仁上 幸治 氏

第2日

ワークショップ

「桜美林大学図書館の魅力を表現する」

株式会社トランスヒューマン 渡邊 崇 氏

○私立大学図書館協会2014年度東地区部会総会・館長会・ 研究講演会

日 時：2014年6月14日（土）

会 場：成蹊大学

I. 部会総会 議事

(1) 報告事項

①2013年度東地区部会報告

②2013年度協会関係報告

③2014年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員

(2) 協議事項

①2013年度東地区部会決算報告及び監査報告

②2013年度東地区部会研究部決算報告及び監査報告

③2014年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)

④2014年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)

⑤東地区部会役員校の構成変更について

[平成25年度決算書(案)]

自 平成25年9月 1日
至 平成26年8月31日

項 目	25年度予算額	25年度決算額	増 減 (△)	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	261,223	261,223	0	
会 費	975,000	975,000	0	15,000円×65館
雑 収 入	120,127	240,167	120,040	協賛広告協議会誌第65号(20,000円×12社) 郵貯等利子(167円)
計	1,356,350	1,476,390	120,040	
(支 出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	432,540	△ 17,460	会誌第65号
總會補助費	100,000	100,000	0	第69回(岩手大学)100,000円
事業費	200,000	61,484	△ 138,516	合同研修会補助(東北大学)61,484円
部会活動費	150,000	12,180	△ 137,820	大学教育部会旅費(3回)12,180円
事務費	40,000	0	△ 40,000	
通信運搬費	20,000	12,664	△ 7,336	会誌等送付料
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	0	△ 20,000	
消耗品費	10,000	0	△ 10,000	
雑 費	30,000	18,380	△ 11,620	会計監査交通費
予備費	238,850	0	△ 238,850	
次年度繰越	0	741,642	741,642	
計	1,356,350	1,476,390	120,040	

[平成25年度記念事業基金決算書(案)]

自 平成25年9月 1日
至 平成26年8月31日

項 目	25年度予算額	25年度決算額	増 減 (△)	摘 要
(収 入)	円	円	円	
前年度繰越金	919,070	919,070	0	
積立金	97,500	97,500	0	記念事業実施のための積立
利 息	188	212	24	普通預金利子(212円)
計	1,016,758	1,016,782	24	
(支 出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	1,016,758	1,016,782	24	
計	1,016,758	1,016,782	24	

平成25年度監査報告

平成25年度東北地区大学図書館協議会監査報告

1. 日 時：平成26年9月8日（月）14：00～15：30
2. 場 所：東北大学附属図書館
3. 監査対象期間：平成25年9月1日～平成26年8月31日
4. 監査結果：

東北地区大学図書館協議会会則第7条に基づき、東北地区大学図書館協議会の監査対象期間に係る収支計算書等について監査を行いました。監査に当っては会計帳簿の調査及び計算書類の検討等通常必要と認められる手続きで実施しました。

監査の結果、上記計算書類は、前事業年度と同一の基準及び手続きに基づき、当該事業年度の収支の状況及び財産の状況を適正に示しているものと認めます。

平成26年9月8日

監査館

秋田公立美術大学附属図書館

主席主査 川 尻 真奈美



東北工業大学附属図書館

事務長 米 道 朝 美



平成26年度事業計画（案）

（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

- 1 会誌第66号の刊行
平成27年5月頃の予定
- 2 第69回総会の開催
平成26年9月26日(金) 岩手大学を当番館に実施
- 3 合同研修会の開催
開催当番 青森地区の予定
- 4 職員の表彰
 - ① 図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等に優れた業績のあった者
 - ② 協議会の運営、発展のために功績のあった者
- 5 大学教育部会及び同部会主催の研修会を開催
- 6 フレッシュ・パーソンセミナーの開催
- 7 記念事業の実施
- 8 記念事業基金の積立て
平成26年度通常会計から記念事業基金
(97,500円)を繰り入れ予定

[平成26年度予算書(案)]

自 平成26年9月 1日
至 平成27年8月31日

項目	25年度予算額	26年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	261,223	741,642	480,419	
会費	975,000	975,000	0	
雑収入	120,127	240,167		
計	1,356,350	1,956,809	600,459	
(支出)	円	円	円	
会誌印刷費	450,000	450,000	0	会誌第66号
総会補助費	100,000	100,000	0	第70回(宮城地区大学)100,000円
事業費	200,000	400,000	200,000	合同研修会補助、表彰関係、地域講習会補助(図書コース等)、フレッシュ・パーソン・セミナー、記念事業実施委員会(仮称)
部会活動費	150,000	200,000	50,000	大学教育部会(会議開催、研修会開催)
事務費	40,000	40,000	0	東北大学(当番館・事務局)
通信運搬費	20,000	20,000	0	郵送料等
積立繰入金	97,500	97,500	0	記念事業基金に繰入
会議費	20,000	20,000	0	幹事会等
消耗品費	10,000	20,000	10,000	会誌送付用封筒等
雑費	30,000	30,000	0	会計監査交通費等
予備費	238,850	579,309	340,459	
計	1,356,350	1,956,809	600,459	

[平成26年度記念事業基金予算書(案)]

自 平成26年9月 1日
至 平成27年8月31日

項目	25年度予算額	26年度予算額	増減(△)	摘要
(収入)	円	円	円	
前年度繰越金	919,070	1,016,782	97,712	
積立金	97,500	97,500	0	通常会計から繰入
利息	188	212	24	普通預金利子(212円)
計	1,016,758	1,114,494	97,736	
(支出)	円	円	円	
事業費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
次年度繰越	1,016,758	1,114,494	97,736	
計	1,016,758	1,114,494	97,736	

協議題(総会)

平成26年度合同研修会について

(常任幹事館 東北大学)

(提案理由)

青森地区が予定になっているので、確認願いたい。
東北地区大学図書館協議会合同研修会開催地区

(平成12年9月20日承認)

年度	当番地区	会場大学 「テーマ」	備考
22	秋 田	秋田大学 「図書館を守る」	
23	山 形	山形大学 「学生、教職員そして社会が 求める大学図書館職員像」	
24	福 島	福島大学 「図書館における学習支援 に関するサービスの現状 と展望について」	
25	宮 城	東北大学 「アクティブラーニングと は何か?その実践とは?: アクティブラーニングを 通じて大学図書館と大学 のつながりを考える」	
26	青 森		
27	岩 手		

注：会場大学の決定については、当該開催地区において協議するものとする。

第70回総会の当番地区(館)について

(常任幹事館 東北大学)

(提案理由)

宮城地区が当番となっているので、確認願いたい。
東北地区大学図書館協議会総会当番地区(館)予定

(平成21年9月17日承認)

回	年度	当番地区	会場大学	備考
64	21	宮 城	仙台白百合女子大学	
65	22	秋 田	国際教養大学	
66	23	山 形	山 形 大 学	
67	24	宮 城	東 北 大 学	
68	25	青 森	八 戸 工 業 大 学	
69	26	岩 手	岩 手 大 学	
70	27	宮 城		
71	28	福 島		
72	29	秋 田		
73	30	宮 城		
74	31	山 形		

注1：会場大学については、当該地区において協議のうえ、開催予定の前年度総会に報告するものとする。

注2：開催地区のローテーションの確認について

①宮城地区は、他地区より大学の数が多いので3年に1回割り振る。

②その他の地区は、次のローテーションによる。

青森地区、岩手地区、福島地区、秋田地区、
山形地区

第69回東北地区大学図書館協議会総会提出議題

図書館名 東北大学附属図書館(本館)

承合事項(総会)①

案 件	図書館新築及び改修の事例について(平成25年度以降、及び今後の予定や計画も含めて)
提 案 理 由	昨今各大学図書館での新築及び改修は、学習環境の整備を中心して行われている。東北地区でも該当する事例があれば報告いただき、本協議会加盟館の共有情報としたい。

図書館名 宮城教育大学附属図書館

承合事項(総会)②

案 件	公共図書館等を含む図書館連携について
提 案 理 由	<p>大学図書館の機能向上が求められる中で、利用者への一層のサービス向上をはかるには、単独の図書館では推進できない面がある。近隣の大学図書館及び公共図書館等との図書館連携の強化は、各館の特性を活かして協力することで、目に見えるサービス向上につながると考えられる。</p> <p>については東北地区大学図書館協議会の加盟館で既に大学図書館間或いは公共図書館等との図書館連携を実施している館があれば、その内容をご教示頂きたい。</p> <p>例：公共図書館と大学図書館との間の資料搬送サービス(NACSIS-ILLの利用の有無にかかわらず、独自に連携体制を築いているもの)、近隣の大学図書館等との利用者カードの共通化、イベント等の共同開催等</p>

第69回総会 講演会資料

ラーニング・コモنزの活かし方 —同志社大学はこう創り、こう運営する—

1

2014年9月26日
東北地区大学図書館協議会総会
岩手大学図書館

ラーニング・コモنزの活かし方 —同志社大学はこう創り、こう運営する—

同志社大学 学習支援・教育開発センター事務長
社会学部嘱託講師「学術情報利用教育論」
井上 真琴
minoue@mail.doshisha.ac.jp

4

ラーニング・コモنزの解説(2)

▶ 中井俊樹他『大学のIR Q&A』(玉川大学出版部, 2013.9)
【用語解説】
ラーニング・コモنز
学内に設けられた学習のための共有スペースのことで、
大学図書館に設置される事例が多く見られる。個人の
学習はもとより、学生間の協同学習を推奨する意図が
ある。コモنزは「共有資源」を意味する外来語で、
資源が共同で所有管理される仕組みや、そのように所
有管理される資源そのものを指す。ラーニング・コモ
ンズの場合は、場所の共有を通じて、学びや知識生産
の価値をも共有することが期待される。

2

講演の要旨

図書館は従来、情報源を貸し出したり、配信したり、契
約した情報源へのアクセスを保証したりと、つねに情報源
の流通、ロジスティクス(物流)を重視してきた。
学習支援・学修支援は、その視点から脱却し、届いた情
報源をどう利用すれば、学生の認知・思考が活性化し、学
習成果を生むのかを焦点とする。
それを可能にする学び(の手法)がアクティブ・ラーニ
ングであり、アクティブ・ラーニングを喚起する学習環境
が、ラーニング・コモنزである。
学生の学習行動を変える情報源の利用方法を提示し、得
た情報を使ってどのように知識を創造するのかを、事例を
示して皆さんとともに考えたい。

5

本日の内容

- I. どのような学習環境デザインか
- II. 何を狙って企画・設置したのか
- III. 運営概況と今後の展開

3

ラーニング・コモنزの解説(1)

▶ 「学修環境充実のための学術情報基盤の整備について
(審議のまとめ)」, 2013.8, 文部科学省・学術情報委員会

【用語解説】
ラーニングコモنز
複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々
な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく
学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。
その際、コンピュータ設備や印刷物を提供するだけでな
く、それらを使った学生の自学自習を支援する図書館職
員によるサービスも提供する。

6

I. どのような学習環境デザインか

同志社大学ラーニング・コモنزの概要(1)

2013年4月
文系学部の今出川校地統合に伴い設立された**新校舎「良心館」**
(地下2階,地上5階,建築面積約8,000㎡,延床面積約40,000㎡)
その2F・3Fにラーニング・コモنزを設置

パンフレット→
日本語版
英語版
中国語版
韓国語



知的欲 望開発空間

I. どのような学習環境デザインか

同志社大学ラーニング・コモنزの概要(2)

- ▶ コモنزの面積 2,550㎡(日本最大級)
- ▶ 図書館とは別校舎: 教室棟の中心部
- ▶ 2フロアで構成(フロア相互の共鳴)
 - 2F: クリエイティブ・コモنز: 学びの交流・啓発空間
「学びのコミュニティ」の創出
 - 3F: リサーチ・コモنز: アカデミックスキル育成空間
チュータリング機能
- 約650席(950席まで拡張可能)、PC約150(ノート型は80)台、プロジェクター、ワイドスクリーン、プラズマモニター、電子黒板、HDカメラ、録画・編集機器、マイク、スピーカー、TV会議設備等
- ▶ 運営主体は学習支援・教育開発センター
ホームページ <https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp>

I. どのような学習環境デザインか

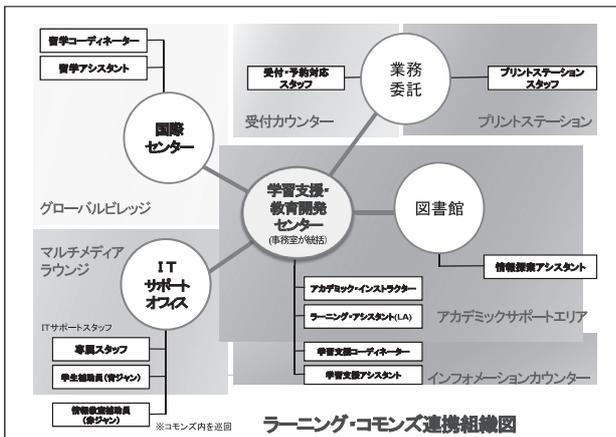
同志社大学ラーニング・コモنزの概要(3)

- ▶ 柔軟性(Flexibility):
可変性のある空間, 組み合わせの型の机, 持ち運び可能なホワイトボードほか
- ▶ 快適性(Comfort):
長時間滞在が可能な空間
- ▶ 感覚刺激性(Sensory Stimulation):
壁がなく, 死角もない, 視認性の高いオープンスペース:
他者の学びの行為が「情報」になる空間
- ▶ 人的支援提供(Technology & Skill Support):
PCサポート, 学習スキルサポート, 情報探索サポートほか
ワークショップ開催ほか

I. どのような学習環境デザインか

同志社大学ラーニング・コモنزの概要(4)

- 学習支援のための人的資源の配置
- ▶ アカデミック・インストラクター(教員3名)
 - ▶ 学習支援コーディネーター(職員1名)
 - ▶ 学習支援アシスタント(学部生数名)
 - ▶ ラーニング・アシスタント(大学院生14名)
 - ▶ 情報探索アシスタント(図書館から1名)
 - ▶ 留学コーディネーター(国際センターから職員1名)
 - ▶ 留学アシスタント(国際センターから留学経験者数名)
 - ▶ ITサポートスタッフ(ITサポートオフィスから専門家・学生数名)
 - ▶ プリントステーション・スタッフ(業務委託2名)
 - ▶ 受付カウンター(業務委託4名)
- 



II. 何を狙って企画・設置したのか

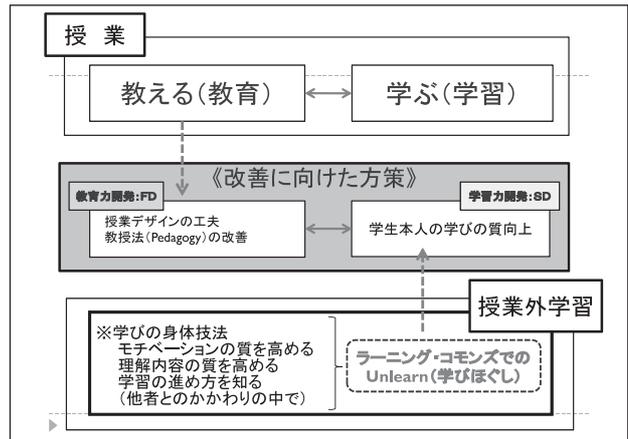
目的をどこにおくか

- ▶ 正課の授業外学習の担保と質向上
- ▶ アクティブ・ラーニングを通じて
学びの身体技法を覚える共有空間



「考える」という「見えなかった行為」を可視化して、思考過程の共有化を図ることに重点をおく。

※教室棟に開設したのは、学びが図書館という限定された世界に閉じ籠ることなく、より広い文脈のなかで「学び方を学ぶ」ことを体得する場として位置づけたため。(PBL教育・初年次教育の書籍)



II. 何を狙って企画・設置したのか

ラーニング・コモنز設置の説明スキーム

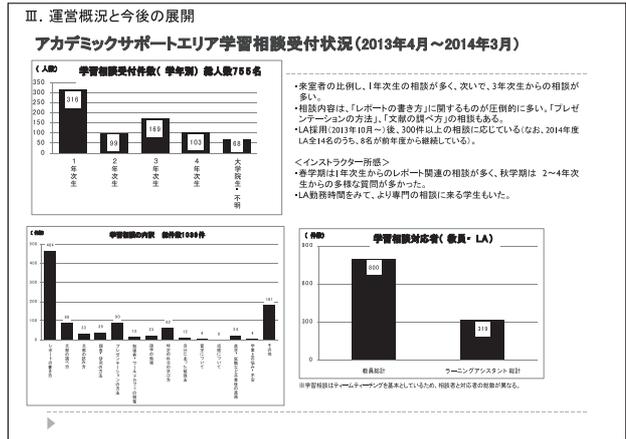
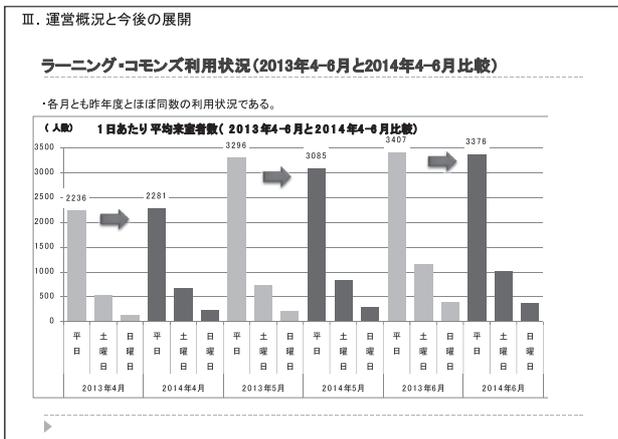
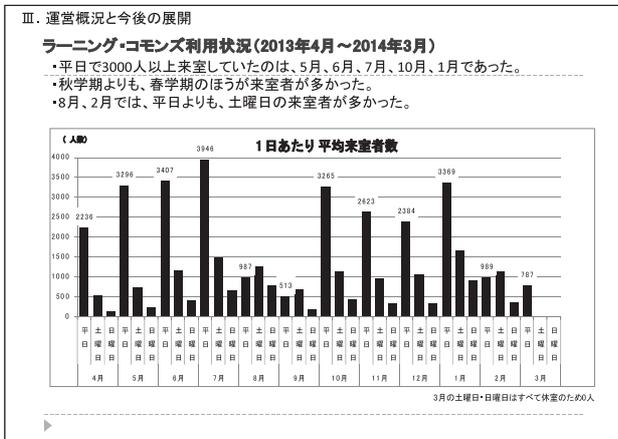
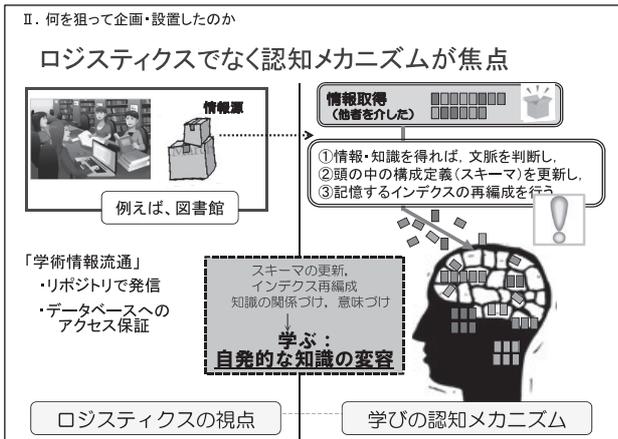
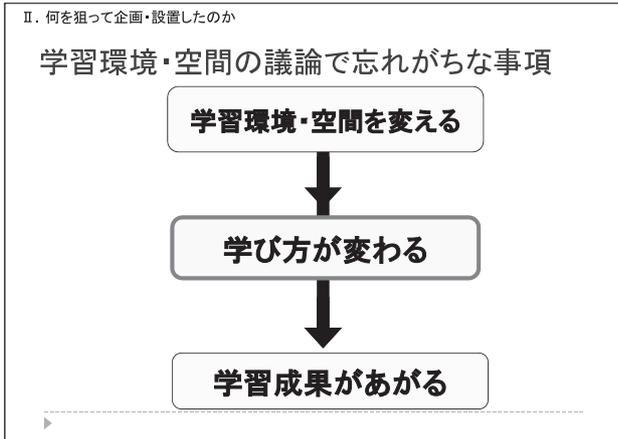
- 1 高等教育は、学習成果(アウトカムズ)重視に移行している。シラバスに「〇〇ができるようになる」と記述する根拠になっている。
- 2 学習成果の向上には、アクティブ・ラーニング(グループでの議論や体験の重視、ピアサポート)が有効だと審議会答申等でも言及されている。
- 3 アクティブ・ラーニングは、複数人数で協同して行うと効果的である。主体的な学習者は、他者との相互作用を通じて学ぶことができる。
- 4 協同学習に適した学習環境は、教室でいえばラーニング・スタジオ、教室外ではラーニング・コモنزになる。
- 5 ラーニング・コモنزの学習空間を活用すれば、授業外学習時間の増加、チュータリングによる学習の質向上が見込め、単位制度の実質化につながる。
- 6 正課の授業外学習支援に焦点をあてるならば、その理由から運営組織は図書館ではなく、教学部門の組織が適切である。

II. 何を狙って企画・設置したのか

アクティブ・ラーニングが言語化できない

- ▶ アクティブであるべきなのは、学生の行動(Behavior)ではなく、認知(Cognition)であり、学生の「認知的な」姿勢をアクティブにすることが重要(メールマガジン「Beating」第58号)
- ▶ 学習は、学習者の能動的探索による知識構造体(スキーマ)の組み替えであり、その過程のコミュニケーション行為により、知識が社会的に構成されることを重視
- ▶ コミュニケーションの文脈デザインと知識再構成過程への関与により学習支援が可能

形態・呼称: 課題探求型学習, PBL(Project-, Problem-Based Learning), 学生参加型授業その他
理論・手法: 相互教授法, ジグソーメソッド, ゴールベースドシナリオ, LTD, アンカード・インストラクション等



III. 運営概況と今後の展開

ラーニング・アシスタント(大学院生対象) ワークショップ

【到達目標】

- ・初対面の人でも、なごやかに話ができ、コミュニケーションをとる中で、相手の立場に立って考えることができる。
- ・アカデミックサポートエリアに相談に来る学生の声を引き出すことができる。
- ・相談に来る学生の勉強の仕方、履修科目、演習などの情報を基に、学部の履修要領とカリキュラム体系を念頭に、学生の状況にあった指導ができる。
- ・大学の学びに必要なスキル・モラルについて説明できる。

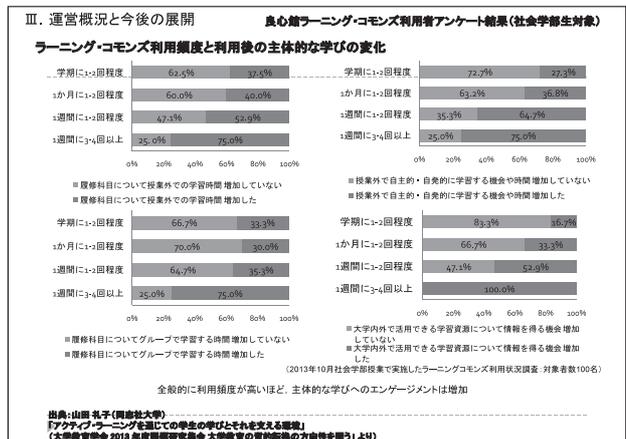
【2013年度版の構成】

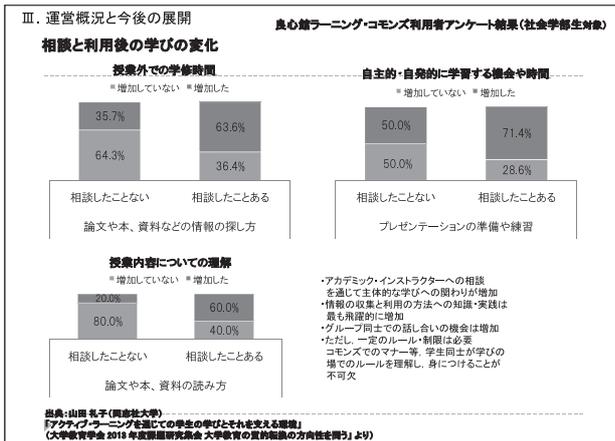
- 第1回 ラーニング・コムズとは
- 第2回 聞き手に求められるカー・オー・デンス教育
- 第3回 妥協点を見つけるために受容的に聴くカー・傾聴法
- 第4回 相手の立場に立って話をするカー・自己尊重コミュニケーション
- 第5回 各学部のカリキュラムと履修科目を知る
- 第6回 大学での勉強とは？勉強法についての知識をアッパ
- 第7回 模擬アドバイジング練習
- 第8回 学生のタイプに基づく授業形態へのアドバイス
- 第9回 協同学習のアプローチ
- 第10回 アクティブ・ラーニング、学生主体型授業
- 第10回 特別ワークショップ 協同学習の理論と実践

III. 運営概況と今後の展開

2014年度春学期アカデミックスキルセミナー概要

No.	セミナー名	概要	開催時期
1	学術文献の読み方	自らの課題、テーマを念頭に、どう文献を読み進めればよいのかをミニレクチャーと実習を通して学ぶ。	6/27(金)4講義(午) 7/8(火)3講義(午) 7/18(金)3講義(日)
2	アイデアの拡張法	マインドマップと検索エンジンを使い、レポート・論文作成に役立つアイデア出しの方法を学ぶ。	6/19(木)4講義(午) 7/8(火)3講義(午) 7/11(金)3講義(日)
3	伝わる文章の書き方	どうすれば伝わる文章が書けるか、ミニレクチャーと実習を通して学ぶ。	6/16(月)4講義(午) 7/4(金)4講義(午) 7/25(金)4講義(日)
4	プレゼンの構成法	伝わるプレゼンの作り方・話し方等、事例を元にして学ぶ。	5/14(木)3講義(午) 5/20(火)3講義(日) 5/22(木)3講義(午) 5/27(火)3講義(午) 5/28(水)3講義(日)
5	グループでのアイデア出し	グループで多くのアイデアを出す方法、またそれらの絞り方について学ぶ。	7/23(水)3講義(午) 7/17(木)4講義(午)
6	ソーシャルメディアの学術的利用法	SNSなどのツールを用いてウェブ上の情報を自動的に収集する方法を学ぶ。	6/20(金)3講義(日) 6/28(木)4講義(午) 7/16(火)3講義(日)
7	レポートの構成の立て方	レポートの構成の立て方、ミニレクチャーと実習を通して学ぶ。	6/5(木)4講義(午) 6/14(金)3講義(日) 6/17(木)4講義(午)
8	ノートの取り方	読みながらとる、読みながらとる。マインドマップを使ったノートの取り方、また方法を学ぶ。	6/4(木)3講義(日) 6/17(木)4講義(午) 6/27(火)3講義(日)
9	ポスターの作り方	身近なツールを利用し、ポスター発表等に必要なコツや技をサンプルを交えて学ぶ。	6/11(木)4講義(午) 6/13(金)4講義(午) 6/17(木)4講義(午) 6/11(金)3講義(日)
10	レジュメの作り方	授業やゼミの発表に欠かせないレジュメ。レジュメ作成のポイント、ミニレクチャーと実習を通して学ぶ。	5/30(金)4講義(午) 6/13(金)4講義(午) 6/17(木)4講義(午) 6/11(金)3講義(日)
11	引用の方法	なぜ引用するのか、どのような引用形式があるのか、レポート・論文作成に欠かせないルールについて学ぶ。	6/11(金)3講義(日) 7/15(土)4講義(金)





第 69 回東北地区大学図書館協議会総会議事メモ

1. 期 日：平成26年9月26日（金）13:00～17:15
2. 会 場：岩手大学図書館2階生涯学習・多目的学習室
3. 出席者：加盟34館から57名

○議 事

1. 開 会 式

常任幹事館東北大学附属図書館の植木館長から、開会の挨拶があった。

次いで当番館岩手大学の横山副学長から、歓迎の挨拶があった。

2. 議長を選出

当番館岩手大学学術情報課の三浦課長より、総会当番地区の館長1名を議長として選出することが提案され、承認された。

総会当番地区の岩手大学図書館横山館長を、議長に選出した。

3. 総 会

(1) 報告事項

① 平成25年度会務報告について

事務局から、総会資料5～6ページに基づき報告があった。

② 平成25年度一般報告について

事務局及び各大学部会幹事館から、総会資料7～19ページに基づき報告があった。公立大学部会については、幹事館の山形県立米沢女子短期大学が欠席のため、岩手県立大学が代わりに報告した。

(2) 協議事項

① 平成25年度決算書(案)について

② 平成25年度記念事業基金決算書(案)について

事務局から、総会資料21及び23ページに基づき一括して報告があり、原案通り承認された。

③ 平成25年度監査報告について

秋田公立美術大学から、総会資料25ページに基づき平成26年9月8日（月）に秋田公立美術大学及び東北工業大学による監査を実施した結果の報告があり、原案通り承認された。

④ 平成26年度事業計画(案)について

事務局から、総会資料27～29ページのとおり提案があり、原案通り承認された。平成26

年度合同研修会については、総会資料29ページのとおり青森地区が当番地区であることを確認した。また、記念事業の実施については、原案を幹事会から提案し、加盟館の意見を聞きながら実施していくことで承認された。

⑤ 平成26年度予算(案)について

⑥ 平成26年度記念事業基金予算(案)について

事務局から、総会資料31ページのとおり提案があり、一括して審議の後、原案通り承認された。

⑦ 第70回総会の当番地区(館)について

事務局から、総会資料33ページにより提案理由について説明があり、次回当番地区が宮城地区であることを確認した。当番館は、内諾をいただいた宮城教育大学にお願いすることで承認された。

(3) その他(承合事項)

総会の承合事項について

承合事項の1について、提案館の東北大学から、承合事項「図書館新築及び改修の事例について(平成25年度以降、及び今後の予定や計画も含めて)」の説明があった。次いで承合事項の2について、提案館の宮城教育大学から、承合事項「公共図書館等を含む図書館連携について」の説明があった。

4. 講 演 会

同志社大学教育支援機構学習支援・教育開発センター事務長の井上真琴氏より「ラーニング・コモンズの活かし方ー同志社大学はこう創り、こう運営するー」という演題でご講演を頂き、講演後に質疑応答を行った。

(弘前大学) 同志社大学ラーニング・コモンズにおいて、参考にした大学やモデルはあるか。

(井上氏) 施設の紹介している本や冊子を参考にし、教育学で研究している先生へ実際に話を聞きに行くなどした。

(弘前大学) ラーニング・コモンズのセミナーや各種講演会などを受講した学生が小レポー

トを提出すると加点するとの記載がシラバスにあったが、それによって学習効果は出ているか。

(井上氏) 今秋に結果が出る。

(宮城教育大学) 同志社大学ラーニング・コモنزの施設が講義棟の中にあるが、図書館の中に置きたかったのか、最初から講義棟の中にあるものとして建てられたのか。

(井上氏) 最初から講義棟の中で建てる予定だった。既存の図書館へラーニング・コモنزのスペースを作るというのは、理解が得られにくいところもある。同志社大学は、当初から図書館とは別の場所へ作るという計画だった。

5. 部 会

国公立各部会に分かれて、会合がなされた。

6. 全体会議

- ① 各部会から、部会で行った意見交換等について報告があった。

(国立大学部会 報告館：岩手大学)

各大学からラーニング・コモنزへの対応や洋雑誌・電子ジャーナルの高騰に関わる予算の確保など課題が挙げられたとの報告があった。

ラーニング・コモنزについては、宮城教育大学が教員養成に特化したことから、利用者が7倍になるなどの成果があったと事例報告があった。

(公立大学部会 報告館：岩手県立大学)

各大学で抱えている一番の問題は、洋雑誌や電子ジャーナルの高騰による予算確保だとの報告があった。またアクティブ・ラーニングについては、図書館の狭隘化が顕著である中、静かな空間とグループ学習を併用できるか課題であると報告され、その他、紀要の全面電子化や障害者雇用への取り組みが報告された。

(私立大学部会 報告館：岩手医科大学)

半数近くの大学で、ラーニング・コモنزの導入を進めているが、古い図書館の意味として、まず利用者をどう増やすか工夫が必要との報告があった。また学生だけではなく地域連携という面で、図書館運営や洋雑誌や電子ジャーナルの高騰に対する予算確保について課題が残るなど報告があった。

- ② その他（質疑・応答）

7. 閉 会 式

- (1) 次期当番館である宮城教育大学附属図書館の遠藤館長より挨拶があった。
- (2) 最後に、常任幹事館である東北大学附属図書館の植木館長より閉会の挨拶があった。

以上

第69回総会出席者名簿

(国 立)

大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	館 長	郡 千寿子
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	研 究 推 進 部 長	山 崎 淳一郎
弘 前 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	三 上 豊
岩 手 大 学 図 書 館	図 書 館 長	横 山 英 信
岩 手 大 学 図 書 館	図 書 館 副 館 長	麥 倉 哲
岩 手 大 学 図 書 館	研 究 交 流 部 長	渡 邊 博 善
岩 手 大 学 図 書 館	学 術 情 報 課 長	三 浦 俊 弘
東 北 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	植 木 俊 哉
東 北 大 学 附 属 図 書 館	事 務 部 長	米 澤 誠
東 北 大 学 附 属 図 書 館	総 務 課 長	小 川 聡
東 北 大 学 附 属 図 書 館	課 長 補 佐	清 野 英 之
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 長	遠 藤 仁
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	佐 藤 初 美
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 管 理 係 長	吉 植 庄 栄
宮 城 教 育 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 管 理 主 任	松 田 悦 子
秋 田 大 学 附 属 図 書 館	図 書 館 ・ 情 報 推 進 課 長	森 谷 めぐみ
山 形 大 学 小 白 川 図 書 館	図 書 館 長	小 川 雅 子
山 形 大 学 小 白 川 図 書 館	図 書 課 副 課 長	石 山 博 子
福 島 大 学 附 属 図 書 館	学 術 情 報 課 長	大 沼 忠 弘
小 計		19

(公 立)

大 学 図 書 館 名	職 名	氏 名
青 森 県 立 保 健 大 学 附 属 図 書 館	主 事	赤 石 知 香
岩 手 県 立 大 学 メ デ ィ ア セ ン タ ー	メ デ ィ ア セ ン タ ー 長	齋 藤 俊 明
岩 手 県 立 大 学 メ デ ィ ア セ ン タ ー	教 育 研 究 支 援 課 長	高 松 秀 一
岩 手 県 立 大 学 メ デ ィ ア セ ン タ ー	主 任 図 書 事 務 員	岩 倉 琴 重
宮 城 大 学 総 合 情 報 セ ン タ ー	総 合 情 報 セ ン タ ー 長	茅 原 拓 朗
宮 城 大 学 総 合 情 報 セ ン タ ー	教 務 第 一 グ ル ー プ 主 任 主 査 (図 書 館 担 当)	安 藤 美 保
秋 田 公 立 美 術 大 学 附 属 図 書 館	主 席 主 査 (司 書)	川 尻 真 奈 美
秋 田 県 立 大 学 図 書 ・ 情 報 セ ン タ ー	シ ニ ア ス タ ッ プ (司 書)	佐 藤 美 穂
国 際 教 養 大 学 図 書 館	ラ イ ブ ラ リ ー チ ー ム リ ー ダ ー	勝 浦 栄 子
会 津 大 学 情 報 セ ン タ ー 附 属 図 書 館	事 務 長	半 澤 勝 造
会 津 大 学 短 期 大 学 部 附 属 図 書 館	附 属 図 書 館 長	井 波 純
福 島 県 立 医 科 大 学 附 属 学 術 情 報 セ ン タ ー	専 門 司 書	古 川 聖 子
小 計		12

(私 立)

大学図書館名	職 名	氏 名
八戸工業大学図書館	事務長代行	青井 信達
八戸工業大学図書館	主 事 補	笹山 由紀子
青森中央学院大学・青森中央短期大学 図書館情報センター	図書館情報 センター長	三田 禮造
岩手医科大学附属図書館	図書館分館長	名取 泰博
岩手医科大学附属図書館	図書館事務室長	芳賀 真理子
富士大学図書館	図書課長	佐藤 育子
富士大学図書館	調 査 役	高橋 直樹
盛岡大学図書館	館 長	林 稔
盛岡大学図書館	事務室長	三戸 孝子
岩手看護短期大学図書館	情報専門部員	佐々木 修
仙台白百合女子大学図書館	図書館事務長	生出 登
石巻専修大学図書館	図書館長	鈴木 均
石巻専修大学図書館	事務課掛長	新田 恒裕
東北学院大学図書館	図書情報課長	早坂 孝司
東北学院大学図書館	係 長	森川 裕史
東北工業大学附属図書館	准 教 授	佐藤 夏子
東北福祉大学図書館	課長補佐	重松 積男
東北福祉大学図書館	館 員	菅原 裕生
東北文化学園大学総合情報センター図書館	総合情報センター長	森田 慎二郎
東北薬科大学附属図書館	課長補佐	藤田 浩三
宮城学院女子大学図書館	館 長	豊澤 弘伸
羽陽学園短期大学附属図書館	館 長	田中 ふみ子
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 附 属 図 書 館	館 長	畠山 孝男
東北文教大学・東北文教大学短期大学部 附 属 図 書 館	司 書	青柳 友恵
奥羽大学図書館	主 任	佐藤 夏美
郡山女子大学図書館	司書係長	和知 剛
小 計		26
合 計		57

図 書 館 統 計 年 報

(1) 建物・職員数・蔵書状況及図書費

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

図書館名	建物 延面積	職員数				蔵 書 冊 数					平成 25 年度増加冊数			平成 25年度 図書 購入費	
		専任	兼任	非常勤 臨時	派遣 職員等	和 書	洋 書	計	内開架 図 書	内指定 図 書	和 書	洋 書	計		
	㎡	人	人	人	人	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	冊	千円
弘前大学	6,102	10	1	10	0	499,940	163,653	663,593	143,343	-	5,173	1,219	6,392	7,063	
〃 医学部分館	1,569	2	0	4	0	98,552	74,845	173,397	43,033	-	892	561	1,453	3,328	
岩手大学	9,089	12	0	18	0	669,403	194,942	864,345	-	-	7,398	901	8,299	21,197	
東北大学	18,215	28	2	32	1	1,566,128	1,152,340	2,718,468	208,262	0	27,842	14,722	42,564	155,257	
〃 医学分館	4,476	8	1	12	1	167,974	249,008	416,982	416,982	-	-2,226	-3,647	-5,873	14,135	
〃 北青葉山分館	3,356	10	0	6	0	84,756	304,789	389,545	389,545	-	1,809	673	2,482	20,195	
〃 工学分館	5,335	10	0	8	1	176,133	180,974	357,107	357,107	0	4,356	1,541	5,897	20,234	
〃 農学分館	1,279	3	0	3	0	81,607	55,801	137,408	137,408	0	-1,186	-5,735	-6,921	9,584	
宮城教育大学	2,934	11	0	5	0	311,631	49,137	360,768	340,126	-	7,591	312	7,903	9,900	
秋田大学	4,604	8	2	9	0	309,424	112,747	422,171	301,586	0	4,853	790	5,643	14,956	
〃 医学図書館	1,717	2	0	5	0	51,647	57,174	108,821	-	-	1,297	254	1,551	6,503	
山形大学小川図書館	7,626	8	0	8	0	530,886	185,913	716,799	179,150	-	5,026	938	5,964	20,618	
〃 医学部図書館	1,195	4	0	4	0	35,819	55,635	91,454	91,454	-	657	134	791	3,482	
〃 工学部図書館	3,259	5	0	3	0	115,406	57,551	172,957	73,159	-	1,283	296	1,579	11,094	
〃 農学部図書館	969	3	0	1	0	80,610	17,055	97,665	13,698	-	1,157	43	1,200	3,460	
福島大学	7,218	9	1	16	0	666,726	232,020	898,746	126,174	-	16,301	1,142	17,443	41,593	
青森公立大学	3,337	6	1	4	4	133,212	44,997	178,209	178,209	1,391	3,398	91	3,489	7,644	
青森県立保健大	1,850	2	1	4	0	84,681	24,075	108,756	108,756	-	2,651	212	2,863	10,593	
岩手県立大学	6,425	0	7	12	0	242,799	60,034	302,833	185,335	-	8,429	988	9,417	11,534	
宮城大学太白キャンパス	943	1	0	5	0	58,027	6,594	64,621	47,070	591	2,307	99	2,406	5,977	
〃 大和キャンパス	2,193	1	0	5	0	99,343	15,754	115,097	74,181	334	3,827	131	3,958	14,874	
秋田県立大学	4,879	2	0	7	0	195,458	45,438	240,896	176,411	-	7,821	1,362	9,183	19,309	
秋田公立美術大学	1,194	2	2	1	0	38,239	8,332	46,571	-	-	1,051	50	1,101	3,662	
国際教養大学	1,816	2	0	0	6	2,561	47,665	73,286	58,683	-	1,632	1,352	2,984	7,680	
山形県立大学	984	0	0	3	1	105,973	9,020	114,993	109,225	0	6,172	1,532	7,704	40,519	
会津大学	2,446	2	2	4	0	58,395	69,990	128,385	73,363	1,239	865	94	959	2,393	
会津大学短大	443	1	1	1	0	71,105	7,272	78,377	-	-	1,136	2	1,138	2,754	
福島県立医大	3,400	6	3	4	0	128,424	94,035	222,459	222,459	-	2,138	452	2,590	72,796	
青森大学	2,729	2	0	0	0	138,859	22,250	161,109	0	0	979	10	989	-	
東北女子大学	559	2	1	3	0	36,960	4,644	41,604	41,604	0	1,716	128	1,844	6,779	
八戸学院大学・八戸短期大	1,636	5	0	0	0	153,865	13,932	167,997	153,865	1,132	2,014	116	2,130	600	
八戸工業大学	2,126	0	6	1	0	104,656	10,689	131,133	26,172	-	934	173	1,107	3,393	
弘前学院大学	1,280	2	1	0	0	85,722	19,092	104,814	104,814	0	883	179	1,062	5,002	
青森中央学院大学	2,137	6	2	1	0	79,646	5,137	84,783	68,098	-	3,512	238	3,750	3,954	
岩手医科大学	5,054	6	2	9	6	148,023	135,738	283,761	254,559	1217	2,198	166	2,364	7,930	
富士大学	1,225	4	0	1	0	163,300	30,450	193,750	46,882	342	2,687	65	2,752	5,217	
盛岡大学	2,081	8	1	0	0	151,538	22,517	174,055	68,688	-	3,251	184	3,435	9,558	
修紅短期大学	206	2	0	0	0	13,650	234	13,884	11,748	1,902	474	0	474	851	
岩手看護短大	183	0	3	0	0	20,149	2,359	22,508	18,899	-	477	8	48	346	
仙台大学	1,120	2	0	0	0	102,166	17,275	119,441	-	-	3,541	263	3,804	4,162	
仙台北百合女子大学	1,442	4	0	3	0	84,821	9,933	94,754	94,754	739	1,290	29	1,319	3,877	
石巻専修大学	3,496	4	0	0	0	111,302	60,749	172,051	113,275	-	4,650	633	5,283	14,572	
東北学院大学中央	7,602	7	0	0	24	431,439	280,881	712,320	1,751,182	-	6,041	3,052	9,093	64,295	
東北学院大学多賀城	2,899	2	0	0	6	81,695	31,814	113,509	100,699	-	1,824	465	2,289	11,894	
東北学院大学泉	6,100	3	0	0	12	198,326	92,027	290,353	142,242	-	6,148	1,995	8,143	35,231	
東北工業大学	2,977	0	2	0	11	192,575	54,929	247,500	68,630	-	5,168	77	5,245	13,331	
東北福祉大学	4,205	12	0	2	0	306,792	69,661	376,453	161,098	-	12,161	1,283	13,444	65,323	
東北文化学園	1,982	1	0	3	0	103,367	15,781	119,148	76,295	0	3,322	29	3,351	9,261	
東北薬科大学	2,036	2	3	2	2	64,681	42,615	107,296	-	-	1,988	224	2,212	67,986	
宮城学院女子大	3,216	0	1	0	10	297,404	105,310	402,714	61,967	312	3,042	764	3,806	20,732	
高綱学院大学	2,337	0	1	0	0	127,068	25,438	152,506	73,713	0	3,245	131	3,376	6,228	
聖和学園短大	428	2	0	0	0	56,019	1,280	57,299	31,466	0	560	0	560	1,507	
仙台青葉学院短大	356	1	0	0	1	12,697	993	13,690	11,720	0	2,052	71	2,123	1,890	
東北生活文化大学	660	2	0	0	0	63,814	5,402	69,216	69,216	0	889	21	910	3,419	
ノースアジア大学	1,689	3	0	0	0	150,682	28,515	179,197	93,907	-	1,255	86	1,341	3,851	
東北芸工大学	2,155	1	1	1	6	133,301	15,545	148,846	148,846	0	1,094	167	1,261	9,168	
羽陽学園短大	705	1	1	0	0	57,495	2,375	59,870	59,870	-	1,030	11	1,041	2,556	
東北文教大学・同短大	1,533	3	2	2	0	111,857	8,412	120,269	77,261	844	1,547	14	1,561	5,238	
東北公益文科大学	1,517	0	1	4	0	92,022	9,999	102,021	86,849	335	2,180	21	2,201	1,970	
いわき明星大学	4,943	2	2	0	14	200,980	55,821	256,801	72,588	-	4,445	555	5,000	19,924	
奥羽大学	2,635	6	0	0	0	146,633	93,175	239,808	239,808	-	-109	-31	-140	322	
郡山女子大学	1,651	4	0	0	0	99,893	14,387	114,280	90,000	0	1,261	23	1,284	2,843	
東日本国際大学	1,221	2	0	0	0	68,029	10,191	78,220	78,220	-	534	15	549	1,264	
日本大工学部	5,006	4	1	7	0	215,273	119,145	334,418	334,418	0	1,179	564	1,743	3,567	
桜の聖母短大	642	1	0	1	0	49,492	9,382	58,874	58,874	0	868	40	908	1,818	
福島学院大学	2,183	2	1	1	1	75,077	5,649	80,726	73,949	-	1,465	45	1,510	3,538	

(2) 利用状況及び文献複写件数

(平成25年度分)

図書館名	図書館利用状況										文献複写		
	対象学生数	学 生				対象職員数	教 職 員				学内分	学外分	計
		館内閲覧		館外貸出			館内閲覧		館外貸出				
		人員	冊数	人員	冊数		人員	冊数	人員	冊数			
弘前大学	6,889	-	-	15,132	28,283	1,835	-	-	940	2,132	202	1,402	1,604
" 医学部分館	-	-	-	7,824	13,668	-	-	-	666	1,189	122	3,483	3,605
岩手大学	5,798	-	-	17,271	33,686	773	-	-	1,521	3,309	2,096	1,535	3,631
東北大学	18,383	-	-	56,684	217,058	10,442	-	-	4,410	214,489	4,151	3,039	7,190
" 医学分館	2,082	-	-	10,583	17,895	4,389	-	-	1,551	3,201	166	2,094	2,260
" 北青葉山分館	3,081	-	-	11,525	17,343	769	-	-	1,007	1,825	1,908	1,365	3,273
" 工学分館	6,764	-	-	24,326	44,572	2,011	-	-	1,760	3,642	141	1,358	1,499
" 農学分館	1,085	-	-	-	7,941	188	-	-	-	569	285	965	1,250
宮城教育大学	1,667	-	-	9,845	21,991	567	-	-	1,076	2,656	232	674	906
秋田大学	5,208	-	-	16,115	32,576	2,770	-	-	1,236	3,161	1,247	1,031	2,278
" 医学図書館	1,401	-	-	5,646	9,876	1,567	-	-	481	982	1,421	2,852	4,273
山形大学小白川図書館	4,419	-	-	17,998	38,331	831	-	-	1,670	4,024	149	1,294	1,443
" 医学部図書館	1,039	-	-	4,997	8,714	1,754	-	-	1,133	2,312	328	4,235	4,563
" 工学部図書館	3,521	-	-	8,138	16,442	453	-	-	629	1,591	22	205	227
" 農学部図書館	623	-	-	1,810	3,322	176	-	-	197	354	21	151	172
福島大学	4,504	-	-	17,877	36,761	743	-	-	2,100	7,371	5,228	1,634	6,862
青森公立大学	1,339	-	-	5,036	9,874	65	-	-	327	1,015	2,893	43	2,936
青森県立保健大	978	-	-	9,204	24,308	448	-	-	926	3,709	4,449	1,896	6,345
岩手県立大学	2,613	-	-	10,757	21,326	500	-	-	1,555	3,456	1,320	918	2,238
宮城大学太白キャンパス	579	-	-	2,909	5,958	106	-	-	411	1,072	691	272	963
" 大和キャンパス	1,374	-	-	8,144	18,672	258	-	-	824	2,223	2,852	1,431	4,283
秋田県立大学	1,820	-	-	-	29,104	465	-	-	-	4,406	644	613	1,257
秋田公立美術大学	238	-	-	1,807	3,843	91	-	-	420	1,044	24	19	43
国際教養大学	1,092	-	-	-	10,975	200	-	-	-	1,638	91	1	92
山形県立大学	641	22,990	-	4,314	8,565	108	1,212	-	368	856	348	131	479
会津大学	1,234	-	-	4,739	8,307	218	-	-	506	990	289	469	758
会津大学短大	328	-	-	2,251	5,405	170	-	-	581	2,426	74	1	75
福島県立医大	1,205	-	-	6,105	11,561	2,662	-	-	1,608	4,117	-	2,952	2,952
青森大学	966	-	-	-	387	91	-	-	-	87	124	17	141
東北女子大学	376	11,081	-	-	1,641	88	2,126	-	-	799	1,851	2	1,853
八戸学院大学・八戸短期大学	1,030	23,467	-	3,254	7,733	530	930	-	554	1,619	288	89	377
八戸工業大学	1,216	-	-	427	751	221	-	-	76	157	-	141	141
弘前学院大学	734	-	-	1,236	2,450	185	-	-	377	1,394	12,549	365	12,914
青森中央学院大学	1,238	-	-	736	6,453	282	-	-	77	1,062	-	369	369
岩手医科大学	2,317	-	-	3,407	6,018	3,786	-	-	2,236	4,482	1,990	2,957	4,947
富士大学	862	-	-	872	1,964	145	-	-	237	553	-	396	-
盛岡大学	2,208	44,892	-	5,558	12,462	284	1,098	-	490	1,358	2,380	115	2,495
修紅短期大学	181	-	-	108	1,107	57	-	-	13	13	1	1	2
岩手看護短大	250	-	-	623	1,048	94	-	-	81	117	17	0	17
仙台大学	2,490	-	-	1,574	2,654	337	-	-	161	409	38	3	41
仙台白百合女子大学	1,096	-	-	2,251	4,894	103	-	-	200	419	275	13	288
石巻専修大学	1,396	-	-	1,531	2,784	250	-	-	373	1,085	202	154	356
東北学院大学中央	11,846	-	-	7,831	14,238	1,260	-	-	1,578	4,095	62,369	902	63,271
東北学院大学多賀城	11,846	-	-	2,985	5,725	1,260	-	-	618	1,734	500	190	690
東北学院大学泉	11,846	-	-	15,168	25,326	1,260	-	-	1,240	3,738	2,019	284	2,303
東北工業大学	2,832	-	-	3,766	7,325	239	-	-	575	1,226	369	21	390
東北福祉大学	5,591	-	-	15,311	28,845	849	-	-	1,431	3,669	662	537	1,199
東北文化学園	2,884	-	-	4,666	8,262	282	-	-	780	1,795	1,588	355	1,943
東北薬科大学	2,139	-	-	2,040	3,674	209	-	-	367	907	2,266	256	2,522
宮城学院女子大	3,007	-	-	12,106	24,680	607	-	-	1,141	3,050	1,466	1,292	2,758
尚絅学院大学	1,955	-	-	5,724	12,287	205	-	-	692	2,173	451	59	510
聖和学園短大	567	8,817	-	776	1,338	140	1,572	-	274	553	107	2	109
仙台青葉学院短大	479	-	-	3,491	4,970	50	-	-	145	322	742	78	820
東北生活文化大学	575	-	-	1,479	2,772	120	-	-	294	975	139	3	142
ノースアジア大学	826	-	-	584	1,087	102	-	-	350	1,220	138	66	204
東北芸工大学	2,372	139,110	-	12,136	28,829	221	-	-	1,167	3,200	1,566	256	1,822
羽陽学園短大	251	-	-	1,607	3,671	65	-	-	118	751	-	32	32
東北文教大学・同短大	720	30,799	-	3,669	6,364	121	-	-	253	960	106	2	108
東北公益文科大学	636	-	-	-	5,783	82	-	-	-	1,597	429	298	727
いわき明星大学	1,304	-	-	5,304	10,166	346	-	-	942	2,307	1,164	194	1,358
奥羽大学	989	19,626	-	1,403	2,238	449	8,411	-	802	1,608	4,637	202	4,839
郡山女子大学	776	-	-	-	1,401	149	-	-	-	756	-	102	102
東日本国際大	533	5,853	-	919	1,672	164	914	-	224	621	13	8	21
日本工科大学	4,765	38,514	-	4,557	9,906	434	2,175	-	741	7,986	296	427	723
桜の聖母短大	293	17,442	-	1,767	3,640	87	1,705	-	446	982	-	30	30
福島学院大学	800	-	-	1,469	2,626	110	-	-	230	390	165	1	166

(3) 雑誌・新聞所蔵及び受付種類数・製本冊数

(平成25年度分)

図書館名	雑誌・新聞所蔵			受付種類数						雑誌・新聞 購入費	製本費	
				受付数			内購入分				冊数	金額
	和	洋	計	和	洋	計	和	洋	計			
弘前大学	種	種	種	種	種	種	種	種	種	千円	冊	千円
" 医学部分館	14,334	3,950	18,284	1,962	203	2,165	461	169	630	17,163	104	191
岩手大学	4,118	2,463	6,581	589	215	804	81	146	227	26,978	575	1,091
東北大学	9,029	2,150	11,179	6,365	312	6,677	331	109	440	9,320	810	1,934
" 医学分館	26,179	17,220	43,399	4,713	2,531	7,244	1,123	1,592	2,715	652,494	3,163	6,121
" 北青葉山分館	4,798	8,644	13,442	873	1,323	2,196	194	1,184	1,378	10,187	2,240	4,399
" 工学分館	2,273	7,147	9,420	411	1,049	1,460	86	344	430	25,609	1,030	2,161
" 農学分館	3,510	4,527	8,037	784	666	1,450	3,369	442	3,811	34,472	1,255	2,213
宮城教育大学	3,835	1,790	5,625	792	249	1,041	111	74	185	19,333	354	666
秋田大学	3,168	699	3,867	701	92	793	398	90	488	9,379,153	183	487
" 医学図書館	6,641	2,629	9,270	915	138	1,053	210	112	322	8,685	375	713
山形大学小白川図書館	1,683	1,671	3,354	586	113	699	133	92	225	8,348	515	974
" 医学部図書館	9,975	3,163	13,138	1,873	212	2,085	351	139	490	8,506	66	112
" 工学部図書館	3,043	1,871	4,914	552	338	890	153	285	438	34,401	0	0
" 農学部図書館	1,991	1,351	3,342	352	38	390	48	20	68	2,475	161	285
福島大学	2,551	626	3,177	355	25	380	104	10	114	1,589	202	348
青森立大	11,067	3,075	14,142	2,496	263	2,759	473	186	659	16,662	1,524	2,790
青森立大保健大	388	718	1,016	170	134	304	170	134	304	4,791	0	0
岩手県立大	940	264	1,204	546	109	655	240	102	342	13,285	100	197
宮城大太白キャンパス	471	327	798	428	326	754	410	325	735	16,327	822	1,640
" 大和キャンパス	2,204	265	2,469	2,307	99	2,406	1,679	42	1,721	6,213	0	0
秋田県立大	2,342	623	2,965	656	62	718	241	55	296	11,814	0	0
秋田立大美術大	3,045	1,042	4,087	762	237	999	408	216	624	19,067	1,052	2,158
国際教養大	155	66	221	53	32	85	51	31	82	1,844	0	0
山形県立大	84	108	192	84	108	192	69	100	169	2,798	98	200
会津大	217	31	248	124	26	150	113	26	139	4,552	35	76
会津大短大	597	840	1,437	253	120	373	76	120	196	23,297	0	0
福島県立大	88	88	176	99	17	116	99	17	116	1,904	54	114
青森大	4,486	2,967	7,453	837	142	979	259	77	336	59,962	1,023	1,890
東北女子大	233	201	434	134	6	140	113	6	119	-	0	0
八戸学院大・八戸短大	103	44	147	67	16	83	67	16	83	3,143	0	0
八戸工業大	821	113	934	842	113	955	915	0	915	685	0	0
弘前学院大	857	611	1,468	137	12	149	137	12	149	4,885	153	298
青森中央学院大	761	43	804	123	43	166	123	33	156	3,671	84	142
岩手医科大	224	73	297	172	53	225	166	53	219	6,582	0	0
富士大	5,538	2,966	8,504	1,341	449	1,790	331	391	722	9,470	885	1,537
盛岡大	2,787	225	3,012	925	50	975	147	50	197	7,198	0	0
修紅短期大	2,791	254	3,045	780	55	835	163	53	216	6,455	10	21
岩手看護短大	53	0	53	53	0	53	37	0	37	470	22	49
仙台大	190	52	242	51	6	57	48	6	54	1,215	90	189
仙台白百合女子大	1,303	160	1,463	136	59	195	136	59	195	6,052	423	804
石巻専修大	325	97	422	194	83	277	183	83	266	12,313	0	0
東北学院大中央	1,256	789	2,045	327	126	453	293	124	417	38,004	761	1,469
東北学院大多賀城	7,856	1,861	9,717	2,587	364	2,951	337	288	625	23,605	469	911,450
東北学院大泉	1,841	1,337	3,178	599	182	781	269	158	427	25,153	203	415
東北工業大	2,890	949	3,839	867	326	1,193	383	300	683	33,753	432	844
東北福祉大	1,177	677	1,854	703	297	1,000	235	277	512	24,518	460	1,293
東北文化学園	4,376	796	5,172	2,187	154	2,341	522	110	632	18,099	21	433
東北薬科大	706	133	839	255	29	284	157	27	184	5,683	0	0
宮城学院女子大	550	482	1,032	198	76	274	45	65	110	11,225	249	523
尚絅学院大	10,254	910	11,164	1,302	229	1,531	367	220	587	19,332	99	342
聖和学園短大	921	179	1,100	327	58	387	211	57	268	7,002	75	151
仙台青葉学院短大	129	1	130	357	0	357	61	0	61	781	11	23
東北生活文化大	117	21	138	102	21	123	85	21	106	2,120	0	0
ノースアジア大	200	40	240	91	11	102	85	11	96	2,125	0	0
東北芸工大	2,227	299	2,526	1,238	49	1,287	122	47	169	5,185	150	315
羽陽学園短大	207	129	336	231	54	285	216	54	270	3,763	0	0
東北文教大・同短大	112	12	123	74	4	78	71	4	75	1,044	90	189
東北公益文科大学	137	38	175	79	10	89	79	10	89	3,135	0	0
いわき明星大	144	27	171	107	9	116	71	9	80	1,404	0	0
奥羽大	890	492	1,382	187	72	259	120	69	189	5,677	48	0
郡山女子大	1,150	1,253	2,403	358	37	395	10	2	12	978	1	2
東日本国際大	6	1	7	163	6	169	151	6	157	2,720	207	412
日本大工学部	234	93	327	103	24	127	103	24	127	2,935	0	0
桜の聖母短大	1,607	1,357	2,964	228	136	364	225	136	361	28,160	904	1,790
福島学院大	124	34	158	71	13	84	67	12	79	1,610	59	119
	68	14	82	68	14	82	66	14	80	3,567	14	32

協議会総会当番地区・当番大学

回	年	当番地区	当番大学	回	年	当番地区	当番大学
1	昭和22	宮城	東北大学	41	61	福島	福島県立医科大学
2	23	〃	仙台工業専門学校	42	62	秋田	秋田大学
3	24	〃	東北学院大学	43	63	宮城	東北学院大学
4	24	〃	東北大学	44	平成元	山形	山形大学
5	25	岩手	岩手大学	45	2	青森	弘前大学
6	26	山形	山形大学	46	3	宮城	石巻専修大学
7	27	青森	弘前大学	47	4	岩手	富士大学
8	28	福島	福島大学	48	5	福島	郡山女子大学
9	29	秋田	秋田大学	49	6	宮城	東北薬科大学
10	30	宮城	宮城学院女子大学	50	7	秋田	秋田経済法科大学
11	31	岩手	岩手医科大学	51	8	山形	山形大学
12	32	山形	山形大学	52	9	宮城	東北工業大学
13	33	秋田	秋田大学	53	10	青森	青森公立大学
14	34	青森	弘前大学	54	11	岩手	盛岡大学・盛岡短期大学
15	35	福島	福島県立医科大学	55	12	宮城	宮城教育大学
16	36	宮城	東北大学	56	13	福島	奥羽大学
17	37	岩手	岩手大学	57	14	秋田	秋田県立大学
18	38	福島	福島大学	58	15	宮城	東北福祉大学
19	39	宮城	東北学院大学	59	16	山形	山形大学
20	40	秋田	秋田大学	60	17	青森	青森大学・青森短期大学
21	41	山形	山形大学	61	18	宮城	宮城大学
22	42	宮城	東北薬科大学	62	19	岩手	岩手県立大学
23	43	青森	弘前大学	63	20	福島	いわき明星大学
24	44	岩手	奥州大学	64	21	宮城	仙台白百合女子大学
25	45	宮城	東北工業大学	65	22	秋田	国際教養大学
26	46	福島	福島県立医科大学	66	23	山形	山形大学
27	47	秋田	秋田経済大学	67	24	宮城	東北大学
28	48	宮城	宮城教育大学	68	25	青森	八戸工業大学
29	49	山形	山形大学	69	26	岩手	岩手大学
30	50	青森	弘前大学	70	27	宮城	
31	51	宮城	東北大学	71	28	福島	
32	52	岩手	岩手大学	72	29	秋田	
33	53	福島	福島大学	73	30	宮城	
34	54	宮城	東北福祉大学	74	31	山形	
35	55	秋田	秋田大学				
36	56	山形	山形大学				
37	57	宮城	宮城学院女子大学				
38	58	青森	弘前大学				
39	59	岩手	岩手医科大学				
40	60	宮城	東北大学				

※ 第64回総会において第65回から74回までの当番地区が確認された。

東北地区大学図書館協議会役員館一覽【第46回(平成3)～第68回(平成25)】

回次 (期)	常任 幹事館	幹事館		会 計 監 査 館		審査委員館		論文審査館(平成19年8月まで)
		(国立)	(公立)	(私立)	(公立)	(私立)	(国立)	
第46回総会 (H3.9～H5.8)	東北大学 岩手大学	福島県立会津短期大学	宮城学院女子大学 石巻専修大学	宮城県農業短期大学	東北福祉大学	東北大学 岩手大学	福島県立医科大学 山形県立米沢女子短期大学	東北工業大学 日本大学工学部
第48回総会 (H5.9～H7.8)	東北大学	会津大学短期大学部	東北福祉大学 いわき明星大学	宮城県農業短期大学	東北学院大学	東北大学 宮城教育大学	福島県立医科大学 秋田県立農業短期大学	八戸工業大学 秋田経済法科大学
第50回総会 (H7.9～H9.8)	東北大学	会津大学	東北薬科大学 富士大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 秋田大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第52回総会 (H9.9～H11.8)	東北大学 福島大学	会津大学	八戸工業大学 東北工業大学	宮城県農業短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 福島大学	福島県立医科大学 岩手県立宮古短期大学	仙台大学 郡山女子大学
第54回総会 (H11.9～H13.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	秋田経済法科大学 東北化学園大学	山形県立米沢女子短期大学	宮城学院女子大学	東北大学 山形大学	秋田県立大学 秋田公立美術工芸短期大学	仙台大学 盛岡大学
第56回総会 (H13.9～H15.8)	東北大学 弘前大学	山形県立保健医療大学	仙台白百合女子大学 秋田経済法科大学	秋田県立大学	東北福祉大学	東北大学 弘前大学	宮城大学 宮城県農業短期大学	八戸大学 東北工業大学
第58回総会 (H15.9～H17.8)	東北大学 岩手大学	秋田県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学	宮城大学	仙台白百合女子大学	東北大学 岩手大学	青森県立保健大学 岩手県立大学	宮城学院女子大学 いわき明星大学
第60回総会 (H17.9～H19.8)	東北大学 宮城教育大学	宮城大学	東北学院大学 岩手医科大学	岩手県立大学	東北福祉大学	東北大学 宮城教育大学	青森県立保健大学 青森公立大学	仙台大学 郡山女子大学
第62回総会 (H19.9～H21.8)	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学	青森県立保健大学	東北学院大学	東北大学 秋田大学	岩手県立大学	東北福祉大学 郡山女子大学
第64回総会 (H21.9～H23.8)	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学	福島県立医科大学	石巻専修大学	東北大学 福島大学	青森県立保健大学	盛岡大学 仙台大学
第66回総会 (H23.9～H25.8)	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北文 教大学短期大学部	山形県立保健医療大学	岩手医科大学	東北大学 山形大学	福島県立医科大学	東北薬科大学 東北文教大学・東北文 教大学短期大学部
第68回総会 (H25.9～H27.8)	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期 大学	東北学院大学 八戸学院大学	秋田公立美術大学	東北工業大学	東北大学 弘前大学	山形県立米沢女子短期大学	東北学院大学 八戸学院大学

東北地区大学図書館協議会会則

昭和22年5月30日制定

昭和24年12月2日制定（全改）

改正：昭和28年11月13日（第1条（名称）改正）、昭和29年6月11日（第7条（会費）、第8条（票決権）改正）、昭和31年10月5日（第6条（監査館）追加）、昭和33年10月7日（第5条（顧問）追加）、昭和34年8月4日（第9条（会費）改正）、昭和39年7月9日（第9条（会費）改正・同第2項（会計年度）制定）、昭和43年5月10日（第9条（会費）改正）、昭和46年5月13日（第9条（会費）改正）、昭和50年5月16日（第2条（加盟組織の追加）改正）、昭和53年10月19日（第9条（会費・会計年度）改正）、昭和56年10月22日（第6条（幹事館を追加）改正）、昭和61年9月25日（第9条（会費）改正）、平成3年9月26日（第9条（会費）改正）、平成6年9月21日（第9条（会費）改正）

第1条 本会は東北地区大学図書館協議会と称する。

第2条 本会は東北地区における大学および国立工業高等専門学校に附属する図書館をもって組織し、図書館の施設、運営、管理などの進歩改善について、相互に連携協力することを目的とする。

第3条 本会は毎年1回、加盟館輪番により総会を開催する。但し必要に応じ、加盟館過半数の賛成を得て、臨時総会を開くことができる。

第4条 本会の目的を達成するため、随時図書館に関する講習会の開催、その他必要と認める事業を行うものとする。

第5条 本会に顧問を置くことができる。

顧問はかつて加盟館に在籍し、本会において特に顕著なる功績のあった者の中から、総会においてこれを推薦する。

顧問は総会に出席し、また随時意見を述べることができる。

第6条 本会に常任幹事館、及び幹事館若干を置く。

1. 常任幹事館、幹事館は幹事会を組織し、協議会の運営にあたる。
2. 幹事会は毎年少なくとも1回招集するものとする。
3. 常任幹事館は協議会の会務を処理し、幹事会を招集する。
4. 常任幹事館、幹事館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第7条 本会の会計事務を監査するため若干の監査館を置く。監査館は総会において互選によってこれを定め、その任期を2ヶ年とする。但し、重任することができる。

第8条 本会の事務所は、常任幹事館内に置く。

第9条 本会の経費は、会費その他の収入をもってあてる。会費は年額15,000円とする。

2 本会の会計年度は毎年9月1日にはじまり、翌年8月31日に終わる。

第10条 総会の票決権は1館につき1票とし、議決は出席館過半数の賛成を要する。

第11条 本会則は総会の議決によらなければこれを変更することができない。

附 則

本会則は昭和24年12月2日から施行する。

（略）

附 則（昭和53年10月19日第33回総会）

この改正による会則は、昭和53年10月19日から施行し、昭和54年9月1日から適用する。

附 則（昭和56年10月22日第36回総会）

この改正による会則は、昭和56年10月24日から施行し、昭和56年10月24日から適用する。

附 則（昭和61年9月25日第41回総会）

この改正による会則は昭和61年9月27日から施行する。

附 則（平成3年9月26日第46回総会）

この改正による会則は平成3年9月26日から施行する。

附則（平成6年9月21日第49回総会）

この会則は、平成6年9月21日から施行する。

○第38回東北地区大学図書館協議会総会議事録（抄）

昭和58年9月29日～30日（会場：弘前大学）

全体会議（第1日）

6. 役員の変更について

常任幹事館から、役員の内任（2年）が今年度で満了となるため、次期役員館選出について提案がなされた。

これは、幹事館が国立2館、公立1館、私立2館の計5館で、うち1館が常任幹事館となる。

会計監査館は公立1館、私立1館で、学術奨励論文審査委員館は、国・公・私立各2館の計6館となる。

以上について各部会で検討し、選任の上全体会議で取りまとめることにした。又、会計監査館については、常任幹事館を決め、それに近い大学を推薦願いたいとの提案があり承認された。

東北地区大学図書館協議会表彰規程

平成19年9月20日制定

（趣旨）

第1条 この規程は、東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）会則第4条に基づく事業として加盟館の職員を表彰するため、必要な事項を定めるものとする。

（表彰の区分）

第2条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行う。

（1）図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

（2）協議会の運営、発展のために功績顕著であった者

（応募の方法）

第3条 表彰を受けようとする者は、所属する加盟館の長に応募の申請を行う。加盟館の長は、応募の申請に基づき常任幹事館へ推薦を行う。

（審査委員会）

第4条 前条の推薦があった時は、審査委員会が審査を行う。

2 審査委員会は、常任幹事館及び加盟館の互選による審査委員館若干をもって組織する。

3 審査委員会に主査館を置き、常任幹事館をもって充てる。

4 審査委員会は、必要に応じ学識経験者の意見を参考とすることができる。

（表彰者の決定）

第5条 幹事会は、審査委員会の審査に基づき、表彰者を決定する。

（表彰状の授与等）

第6条 表彰に際しては、別紙様式による表彰状に併せて記念品を贈呈することができる。

2 表彰は、協議会の総会において行う。

（取扱要項への委任）

第7条 この規程に定めるもののほか、表彰について必要な事項は別に定める。

附 則

1 この規程は、平成19年9月20日から施行する。

2 東北地区大学図書館協議会学術奨励規程（昭和40年6月2日制定）は、廃止する。

3 東北地区大学図書館協議会表彰規程（昭和38年6月30日制定）は、廃止する。

東北地区大学図書館協議会表彰規程取扱要項

平成19年9月20日制定

- 第1 この取扱要項は、東北地区大学図書館協議会表彰規程（以下「規程」という。）第7条の規定に基づき表彰について必要な事項を定めるものである。
- 第2 規程第2条第1号の「図書館活動又は図書館情報学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者」とは次に掲げる者をいう。
- (1) 図書館活動における業績 業務処理の改善や業務遂行上の成果等で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動において先導的な意義を有するもの。
 - (2) 図書館情報学の研究、調査等の業績 図書館情報学に関する著作で、東北地区大学図書館協議会加盟館の活動に対して啓発性を有するもの。
 - (3) 前2号の業績は、個人以外にグループも対象とする。
- 第3 規程第2条第2号の「協議会の運営、発展のために功績顕著であった者」とは、加盟館に5年以上勤務した者のうち、規定文言の主旨に合致するものを対象とする。
- 第4 規程第3条の推薦の期日は、毎年5月末日までとする。
- 2 推薦は、別紙文書により行う。
 - 3 応募については、自薦、他薦を問わないものとする。
- 第5 主査館は、推薦調書（各写）を審査委員館に送付し、審査を依頼するものとする。
- 第6 審査は、会議又はその他の方法による。
- 第7 推薦調書を提出した審査委員館は、審査には加わらない。
- 第8 常任幹事館から推薦調書の提出があった場合は、常任幹事館を除く審査委員館の互選によって主査館を決定する。
- 第9 審査委員館は、当分の間、会則第6条に規定する幹事館をもって充てる。
- 第10 審査委員館は、審査結果を文書にて、その年の7月末日までに常任幹事館に報告する。
- 第11 常任幹事館は、審査委員会の結果を総会に報告するものとする。
- 第12 受賞者等については、その受賞事由、業績等の概要等を協議会誌に公表するものとする。

附 則

- 1 この取扱要項は、平成19年9月20日から施行する。
- 2 学術奨励賞候補論文等審査取扱要項（平成2年9月20日制定）は、廃止する。

.....

表彰状様式1（第2条第1号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

.....

表彰状様式2（第2条第2号該当者）

表 彰 状 殿

あなたは本協議会の運営に尽力されるとともに大学図書館の発展に多大な貢献をされました
よってここにそのすぐれた功績を讃え記念品を贈り表彰いたします

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会

(別紙)

文書番号

平成 年 月 日

東北地区大学図書館協議会常任幹事館

〇〇 大学附属図書館長 殿

〇〇 大学(附属) 図書館長

〇〇〇〇 公印

表彰者の推薦について

下記の者を、東北地区大学図書館協議会表彰規程第2条〇号に基づく表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。

なお、別紙のとおり推薦調書を提出します。

記

〇 〇 〇 〇

別紙(第2条第1号該当者)

表彰者推薦調書

〇〇 大学(附属) 図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
業 績 等	研究のテーマ 又は調査事項							
	発表集会等名							
	発表年月日							
	掲載誌名及び巻号							
	発行年月日							
	発行機関							
当該業績等に係る他組織等からの表彰の有無 (有の場合当該組織名)								
図書館業務歴								

備考

- 1) グループの業績等で推薦する場合は、氏名の欄は代表者名を記入し、推薦理由に当該グループ名を記載すること。
- 2) 業績等の記入欄については、該当する個所について記載すること。
- 3) その他参考となる資料を添付すること。

表彰者推薦調書

〇〇大学（附属）図書館

職名		氏名		生年月日	昭和 平成	年	月	日
推薦理由								
履 歴 事 項								
年	月	日	勤務内容等（大学等名及び業務）					
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
	～							
加盟館勤務年数計〇〇年								

備考

- 1) 勤務期間の計算は、暦日数によるものとし、日を月に換算する時は30日をもって1月とする。
- 2) 休職の期間（業務上の傷病の期間は除く）及び懲戒処分により停職された期間は、勤務期間から除算する。
- 3) その他参考となる資料があれば、添付すること。

東北地区大学図書館協議会研修部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に研修部会（以下「部会」という。）を設置し、具体的な研修実施のための企画立案を行い、協議会加盟館員の人材育成と交流の機会を図る。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会が実施する研修の企画
- (2) 研修会会場館（地区）との協力による集合型研修の実施
- (3) 研修結果・成果の協議会ウェブサイト等を利用した公開

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 国立大学部会から推薦された者 | 2 名 |
| (2) 公立大学部会から推薦された者 | 1 名 |
| (3) 私立大学部会から推薦された者 | 2 名 |

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし、再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会研修検討WGは、廃止する。

東北地区大学図書館協議会ウェブサイト運用部会設置要項

平成 20 年 9 月 18 日制定

(目的)

第 1 条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）にウェブサイト運用部会（以下「部会」という。）を設置し、協議会の活動を広く公開するとともに加盟館及び図書館関連機関に有用な情報を提供する。

(活動内容)

第 2 条 部会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 協議会ウェブサイトの運用、管理、更新
- (2) 新規掲載コンテンツの企画

(組織)

第 3 条 部会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 国立大学部会から推薦された者 2 名
- (2) 公立大学部会から推薦された者 1 名
- (3) 私立大学部会から推薦された者 2 名

2. 部会に主査を置く。主査は、委員の互選によるものとする。

(委嘱)

第 4 条 前条第 1 項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第 5 条 第 3 条第 1 項に掲げる委員の任期は 2 年とする。ただし再任をさまたげない。

(協議会からの援助)

第 6 条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第 7 条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第 8 条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成 20 年 9 月 18 日から施行する。
- 2 東北地区大学図書館協議会ウェブサイト開設WGは、廃止する。

記念事業基金積立要綱

昭和57年10月14日制定

当協議会が記念事業を将来行うに必要な基金のために、年度予算に一定積立として計上し、積立てる。

1. 年度の積立金額は、その年度会費総額の10%を限度とする。
2. 期間は昭和57年度からとし、総会の議決により記念事業を行う予定の年度までとする。
3. 積立方法は、金融機関に口座を設け積立てる。
4. その支出については、総会の議決を経なければならない。
5. その会計事務は監査をうけ、総会に報告する。

東北地区大学図書館間相互利用手続き申し合わせ

平成14年9月20日 第57回東北
地区大学図書館協議会総会決定

第56回総会の協議結果を尊重し、東北地区大学図書館協議会に加盟する各大学図書館は、「国公立大学図書館間相互貸借に関する協定」の目的にある「図書館間の相互貸借の円滑化を図り、もってわが国の学術研究・教育の進展に寄与すること。」の精神を生かし、以下を目標として努力する。

記

1. 来館利用の際の持参書類については、従来必要とした、「利用依頼書・閲覧許可願」等に代り、所属大学発行の「身分証明書」、「学生証」等の本人確認が可能なものの提示により利用を可能とすること。
2. 各大学それぞれの事情があり（例：女子大学の場合における男子学生の入構等）、また、確実に資料を入手するためにも事前連絡は必要と思われるが、急な来館についても、受入館はできるだけのサービスを行うこと。
3. 相互利用を円滑に行うため、各館は所属する研究者、学生に対して相互利用手続きに関する十分な利用者教育を行うこと。
4. 相互利用を円滑に行うため、各館は「図書館間相互協力便覧」に利用上の留意事項を明記するとともに、各館のホームページ上での利用案内においても明記すること。

東北地区国立大学図書館防災連絡網設置要項

平成12年4月20日 第31回国立
大学図書館東北地区協議会決定
平成16年4月22日 第35回東北
地区国立大学図書館協会改正

(目的)

第1条 国立大学図書館協会東北地区協定会則（以下「会則」という。）第2条に定める会員（以下「会員」という。）において地震等による激甚な災害が発生した際、会員における図書館業務の維持に関し、会員間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

(地区防災連絡網)

第2条 地区防災連絡網は会員により構成し、会員間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、国立大学図書館協会の東北地区理事館を充て、地区連絡館が被災した場合は、東北地区国立大学図書館協会総会の当番館がこれに代わるものとする。

(地区防災連絡館)

第3条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱等をさけるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。但し、会員における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等会員間に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び会員の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、必要がある場合は、国立大学図書館協会の他地区防災連絡館等との連絡にあたるものとする。

5 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会の公立大学及び私立大学の代表との連絡窓口になるものとする。

(会員の連絡窓口の設置)

第4条 会員に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、会則第5条に定める会議において定める。

附 則

この要項は、平成12年4月20日から施行する。

附 則

1 この要項は、平成16年4月22日から施行する。

2 第2条2項の規定において、東北地区理事館と東北地区国立大学図書館協会総会の当番館が重複した場合、地区防災連絡館は会則第5条に定める総会において決定する。

東北地区大学図書館協議会公立部会防災連絡網設置要項

平成12年9月20日

東北地区大学図書館協議会（公立部会）

（目的）

第1条 東北地区大学図書館協議会公立部会加盟館（以下「公立部会加盟館」という。）において地震等による激甚な災害により被災した際、公立部会加盟館における図書館業務の維持に関し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため東北地区防災連絡網（以下「地区防災連絡網」という。）を設置する。

（地区防災連絡網）

第2条 地区防災連絡網は、公立部会加盟館により構成し、公立部会加盟館間の連絡調整を行うため地区防災連絡館を置く。

2 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会公立部会幹事館（以下「公立部会幹事館」という。）を充て、公立部会幹事館が被災した場合は、公立部会会計監査館がこれに代わるものとする。

（被災館）

第3条 地震等による激甚な災害に被災した公立部会加盟館（以下「被災館」という。）は、被災状況を地区防災連絡館へ連絡するものとする。

（地区防災連絡館）

第4条 災害発生時における被災館との連絡は、情報の混乱を避けるため地区防災連絡館が必要な間、集約的に行う。ただし、個々の公立部会加盟館における固有の連絡は、この限りとしない。

2 災害発生から被災館が復旧するまでの間、相互利用等公立部会加盟館に共通する日常業務の維持に関して協議の必要が生じた場合は、地区防災連絡館が調整を行う。

3 地区防災連絡館は、地区防災連絡網の確認及び公立部会加盟館の防災意識を高めるため、原則として年1回以上の連絡訓練を行うものとする。

4 地区防災連絡館は、東北地区大学図書館協議会加盟の国立部会及び私立部会の代表との連絡窓口になるものとする。

（会員の連絡窓口の設置）

第5条 公立部会加盟館に連絡窓口を置く。

2 連絡窓口に変更があった場合は、地区防災連絡館に連絡するものとする。

（雑則）

第6条 この要項に定めるもののほか、地区防災連絡網に関する必要な事項は、東北地区大学図書館協議会公立部会総会において定めるものとする。

附 則

この要項は、平成12年9月20日から施行する。

東北地区大学図書館協議会大学教育部会設置要項

平成24年10月19日制定

(目的)

第1条 東北地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に大学教育部会（以下「部会」という。）を設置し、大学図書館に関わる教職員協働型の大学教育のあり方について検討するとともに、協議会としての事業化の企画立案を行い、加盟大学における「学生の主体的学び」を育成するための取り組みを強化する。

(活動内容)

第2条 部会は、次に掲げる事項について活動する。

- 一 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するために、加盟大学における知見を集約化し、共有する。
- 二 大学教育そのものに関する図書館員の知見を深めるための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。
- 三 教育支援、大学生の学習支援を効果的に実施するための方策を検討し、協議会としての事業化の提案を行う。

(組織)

第3条 部会は、原則として次に掲げる委員をもって組織する。

- 一 国立大学部会の委員 2人
- 二 公立大学部会の委員 1人
- 三 私立大学部会の委員 3人

2 部会に主査を置き、前項に掲げる委員の互選によって定める。

(委嘱)

第4条 前条第1項に掲げる委員は、常任幹事館の館長が委嘱する。

(任期)

第5条 第3条第1項に掲げる委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(協議会からの援助)

第6条 部会の活動に対して、協議会は必要に応じて援助することができるものとする。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、常任幹事館において処理する。

(その他)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は部会が別に定める。

附 則

- 1 この要項は、平成24年10月19日から施行する。
- 2 この要項の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第5条本文の規定にかかわらず、平成25年8月31日までとする。

加 盟 館 職 員 名 簿

(平成27年4月1日現在)

【弘前大学附属図書館】

電話番号 (0172) - 39 - 3155

FAX番号 (0172) - 39 - 3171

E-mail jm3155@hirosaki-u.ac.jp

館 長 (併)教授 郡 千寿子
事務責任者 研究推進部長 山崎 淳一郎
学術情報課 課 長 三上 豊

【岩手大学図書館】

電話番号 (019) - 621 - 6082

FAX番号 (019) - 621 - 6088

E-mail lsomu@iwate-u.ac.jp

図書館長(併)副学長(情報統括担当)

副 館 長 (併)教授 喜 多 一 美
事務責任者 学術情報課長 麥 倉 哲
竹 谷 隆 則

【東北大学附属図書館】

電話番号 (022) - 795 - 5911

FAX番号 (022) - 795 - 5909

E-mail lib-syom@bureau.tohoku.ac.jp

館 長 理 事 植 木 俊 哉
副 館 長 (併)教授 西 尾 剛
事務責任者 事務部長 米 澤 誠

【東北大学附属図書館医学分館】

電話番号 (022) - 717 - 7973

FAX番号 (022) - 717 - 7982

E-mail lib-med@grp.tohoku.ac.jp

館 長 (併)教授 丸 山 芳 夫
事務責任者 専門員 横 山 美 佳

【東北大学附属図書館北青葉山分館】

電話番号 (022) - 795 - 6368

FAX番号 (022) - 795 - 3753

E-mail klib-k@library.tohoku.ac.jp

分 館 長 (併)教授 竹 田 雅 好
事務責任者 管理係長 田 中 朱 美

【東北大学附属図書館工学分館】

電話番号 (022) - 795 - 5892

FAX番号 (022) - 795 - 7120

E-mail elib-k@library.tohoku.ac.jp

分 館 長 (併)教授 正 田 晋一郎
事務責任者 専門員 對 馬 庸 二

【東北大学附属図書館農学分館】

電話番号 (022) - 717 - 8882

FAX番号 (022) - 274 - 2127

E-mail alib@library.tohoku.ac.jp

分 館 長 教 授 盛 田 清 秀
事務責任者 図書係長 菅 原 透

【宮城教育大学附属図書館】

電話番号 (022) - 214 - 3348

FAX番号 (022) - 214 - 3351

E-mail toshokan@staff.miyakyo-u.ac.jp

館 長 (併)教授 遠 藤 仁
事務責任者 学術情報課長 川 村 眞

【秋田大学附属図書館】

電話番号 (018) - 889 - 2273

FAX番号 (018) - 832 - 4917

E-mail soumu@lib.akita-u.ac.jp

館 長 (併)教授 麻 生 節 夫
事務責任者 図書館・情報課長 森 谷 めぐみ

【秋田大学附属図書館医学図書館】

電話番号 (018) - 884 - 6052

FAX番号 (018) - 884 - 6252

E-mail ibun@lib.akita-u.ac.jp

分 館 長 (併)教授 田 中 正 光
事務責任者 主 査 菅 野 久 美 子

【山形大学小白川図書館】

電話番号 (023) - 628 - 4904

FAX 番号 (023) - 628 - 4915

E-mail jkasomu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 小川 雅子
事務責任者 図書課長 棚井 信良**【山形大学医学部図書館】**

電話番号 (023) - 628 - 5054

FAX 番号 (023) - 628 - 5059

E-mail itosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 細矢 貴亮
事務責任者 係長 杉沼 宏**【山形大学工学部図書館】**

電話番号 (0238) - 26 - 3019

FAX 番号 (0238) - 26 - 3408

E-mail koutosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 多賀谷 英幸
事務責任者 係長 遠藤 みどり**【山形大学農学部図書館】**

電話番号 (0235) - 28 - 2810

FAX 番号 (0235) - 28 - 2815

E-mail notosyo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

館長 (併)教授 野堀 嘉裕
事務責任者 係長 安藤 幸子**【福島大学附属図書館】**

電話番号 (024) - 548 - 8083

FAX 番号 (024) - 548 - 2377

E-mail k-soumu@lib.fukushima-u.ac.jp

館長(副学長) (併)教授 千葉 悦子
事務責任者 学術情報課長 大沼 忠弘**【青森公立大学図書館】**

電話番号 (017) - 764 - 1551

FAX 番号 (017) - 764 - 1591

E-mail lib@bb.nebuta.ac.jp

図書館長 (併)教授 藤井 一弘
事務責任者 図書館情報TL 大久保 寛樹
事務責任者 図書館専門員 小田 真邦子**【青森県立保健大学附属図書館】**

電話番号 (017) - 765 - 2011

FAX 番号 (017) - 765 - 2012

E-mail library@auhw.ac.jp

館長 (併)教授 鈴木 孝夫
事務責任者 総務課総括担当(図書課兼務)
木村 賢**【岩手県立大学メディアセンター】**

電話番号 (019) - 694 - 2070

FAX 番号 (019) - 694 - 2071

E-mail ipu-library@ml.iwate-pu.ac.jp

メディアセンター長 (併)副学長 齋藤 俊明
宮古短期大学部図書館長 (併)教授 田中 宣廣
事務責任者 教育研究支援室長 小平 浩**【宮城大学総合情報センター】**

(大和キャンパス図書館)

電話番号 (022) - 377 - 8313

FAX 番号 (022) - 377 - 8383

E-mail tosho@myu.ac.jp

総合情報センター長 (併)教授 茅原 拓朗
事務責任者 事務部学務課 教務第一グループリーダー(課長補佐)
簗野 一浩**【宮城大学総合情報センター】**

(太白キャンパス図書館)

電話番号 (022) - 245 - 1046

FAX 番号 (022) - 245 - 2214

E-mail f-tosho@myu.ac.jp

総合情報センター長 (併)教授 茅原 拓朗
事務責任者 事務部太白事務室 教務・学生支援グループリーダー
佐藤 尚志**【秋田県立大学図書・情報センター】**

電話番号 (018) - 872 - 1561

FAX 番号 (018) - 872 - 1674

E-mail a_library@akita-pu.ac.jp

図書・情報センター長 理事 小林 淳一
事務責任者 事務局次長 澤田 昇

【秋田公立美術大学附属図書館】

電話番号 (018) - 888 - 8106

FAX番号 (018) - 888 - 8107

E-mail library01@akibi.ac.jp

館長 (併)教授 澤田 享
事務責任者 事務長 藤原 健一**【国際教養大学中嶋記念図書館】**

電話番号 (018) - 886 - 5907

FAX番号 (018) - 886 - 5912

E-mail lib1@aiu.ac.jp

館長(センター長) (併)教授 勝又 美智雄
事務責任者 次長兼教務課長 須田 幸子**【山形県立保健医療大学附属図書館】**

電話番号 (023) - 686 - 6671

FAX番号 (023) - 686 - 6679

E-mail kanri@yachts.ac.jp

図書館長 (併)教授 伊橋 光二
事務責任者 図書・調整主査 工藤 千草**【山形県公立大学法人附属図書館】**

電話番号 (0238) - 22 - 7334

FAX番号 (0238) - 22 - 7333

E-mail tosho@yone.ac.jp

図書館長 教授 吉田 歆
事務責任者 図書館管理主査 長岡 美佐保**【会津大学情報センター附属図書館】**

電話番号 (0242) - 37 - 2544

FAX番号 (0242) - 37 - 2554

E-mail library@u-aizu.ac.jp

情報センター長 (併)教授 北道 淳司
事務責任者 主幹兼事務長 半澤 勝造**【会津大学短期大学部附属図書館】**

電話番号 (0242) - 37 - 2458

FAX番号 (0242) - 37 - 2412

E-mail tosho@jc.u-aizu.ac.jp

附属図書館長 (併)教授 井波 純

【公立大学法人福島県立医科大学附属学術情報センター】

電話番号 (024) - 547 - 1687

FAX番号 (024) - 547 - 1996

E-mail lib@fmu.ac.jp

センター長 (兼)教授 和田 郁夫
学術情報室長 (兼)総務課長 引地 敬**【青森大学附属図書館】**

電話番号 (017) - 738 - 2001, 内線(本館) 442, (新館) 401

FAX番号 (017) - 738 - 0143, (017) - 738 - 2034

E-mail lib@aomori-u.ac.jp

館長 (併)教授 森 宏之

【東北女子大学附属図書館】

電話番号 (0172) - 33 - 2289

FAX番号 (0172) - 33 - 2486

E-mail tosyo@tojo.ac.jp

館長 (併)教授 佐々木 隆

【八戸学院大学・八戸学院短期大学図書館】

電話番号 (0178) - 30 - 1695

FAX番号 (0178) - 30 - 1737

E-mail tosyokan@hachinohe-u.ac.jp

館長 (併)教授 田中 哲
事務責任者 学務部情報メディア課課長 浜 章夫**【八戸工業大学図書館・情報事務室】**

電話番号 (0178) - 25 - 8032

FAX番号 (0178) - 25 - 8887

E-mail tosyo@hi-tech.ac.jp

館長 教授 鈴木 寛
事務責任者 事務長代行 青井 信達**【弘前学院大学附属図書館】**

電話番号 (0172) - 34 - 5211 (内線 153)

FAX番号 (0172) - 32 - 8768

E-mail sisyo2@hirogaku-u.ac.jp

図書館長 (併)教授 佐藤 和博

【青森中央学院大学・青森中央短期大学図書館情報センター】

電話番号 (017) - 728 - 0131

FAX番号 (017) - 738 - 8333

E-mail lib@aomoricgu.ac.jp

図書館情報センター長 (併)青森中央学院大学教授
三田 禮 造
事務責任者 (併)教育開発推進課課長
櫻 庭 肇

【岩手医科大学附属図書館】

電話番号 (019) - 651 - 5111

FAX番号 (019) - 625 - 8030

E-mail tosho@j.iwate-med.ac.jp

館 長 (併)教授 佐藤 洋 一
分館長 (併)教授 名取 泰 博
事務責任者 事務室長 芳賀 真理子

【富士大学図書館】

電話番号 (0198) - 22 - 4986

FAX番号 (0198) - 23 - 6381

E-mail tosyokan@fuji-u.ac.jp

館 長 (併)教授 牧野 博
事務責任者 図書課長 佐藤 育子

【盛岡大学図書館】

電話番号 (019) - 688 - 5561

FAX番号 (019) - 694 - 1048

E-mail yamatomo@morioka-u.ac.jp

館 長 (併)教授 熊谷 常 正
事務責任者 副館長 山崎 知行

【修紅短期大学図書館】

電話番号 (0191) - 24 - 2211

FAX番号 (0191) - 24 - 2213

E-mail library@shuko.ac.jp

館 長 学 長 千葉 正
事務責任者 主 事 小林 薫子

【岩手看護短期大学図書館】

電話番号 (019) - 687 - 3864 (代)

FAX番号 (019) - 687 - 3894

E-mail library@iwate-nurse.ac.jp

館 長 (併)学 長 三田 光 男
館長代行 (併)講 師 三田 弥 生

【仙台大学附属図書館】

電話番号 (0224) - 55 - 1399

FAX番号 (0224) - 57 - 2062

E-mail library@sendai-u.ac.jp

館 長 (併)教授 丸山 富 雄
事務責任者 課 長 川村 隆

【仙台白百合女子大学図書館】

電話番号 (022) - 374 - 5090

FAX番号 (022) - 374 - 4577

E-mail library@sendai-shirayuri.ac.jp

館 長 (併)教授 芳野 総 子
事務責任者 図書館事務長 生出 登

【石巻専修大学図書館】

電話番号 (0225) - 22 - 7718

FAX番号 (0225) - 22 - 7875

E-mail lib@isenshu-u.ac.jp

館 長 教 授 鈴木 均
事務責任者 事務課長 尾崎 由明

【東北学院大学中央図書館】

電話番号 (022) - 264 - 6491

FAX番号 (022) - 264 - 6490

E-mail lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

館 長 (併)教授 中川 清 和
事務責任者 図書情報課長 小野寺 洋子

【東北学院大学多賀城キャンパス図書館】

電話番号 (022) - 368 - 1206

FAX番号 (022) - 368 - 0777

E-mail lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 淡野 照 義
事務責任者 図書情報課課長補佐 小野寺 芳 典

【東北学院大学泉キャンパス図書館】

電話番号 (022) - 375 - 1174

FAX番号 (022) - 375 - 2121

E-mail lib-office@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

分館長 (併)教授 松本 秀明
事務責任者 図書館課長補佐 石山 仁**【東北工業大学附属図書館】**

電話番号 (022) - 305 - 3178

FAX番号 (022) - 305 - 3180

E-mail ymeguro@tohtech.ac.jp

附属図書館長 (併)教授 野本 俊裕
図書館事務長 (兼務) 目黒 裕二**【東北福祉大学図書館】**

電話番号 (022) - 717 - 3319

FAX番号 (022) - 717 - 3339

E-mail lib@tfu-mail.tfu.ac.jp

館長 (併)教授 横田 信義
事務責任者 課長 中塚 晶**【東北文化学園大学総合情報センター図書館】**

電話番号 (022) - 233 - 3878

FAX番号 (022) - 233 - 9453

E-mail lib@office.tbgu.ac.jp

センター長 (併)教授 森田 慎二郎
事務責任者 事務室課長 佐々木 正文**【東北薬科大学附属図書館】**

電話番号 (022) - 727 - 0061

FAX番号 (022) - 273 - 5255

E-mail library@tohoku-pharm.ac.jp

館長 (併)教授 佐藤 憲一
事務責任者 事務課長 菅原 健士**【宮城学院女子大学図書館】**

電話番号 (022) - 279 - 5658

FAX番号 (022) - 279 - 6077

E-mail library@mgu.ac.jp

館長 (併)教授 志村 文隆
事務責任者 大学事務部長補佐 佐藤 英之**【尚絅学院大学図書館】**

電話番号 (022) - 381 - 3440

FAX番号 (022) - 381 - 3441

E-mail library@shokei.ac.jp

館長 (併)教授 阿留多伎 真人
事務責任者 教育研究支援課長 小島 広二**【聖和学園短期大学図書館】**

電話番号 (022) - 376 - 3151

FAX番号 (022) - 376 - 3155

E-mail seiwatandai.toshokan@seiwa.ac.jp

館長 (併)教授 小野 真喜子
事務責任者 青野 美智子**【仙台青葉学院短期大学図書館】**

電話番号 (022) - 369 - 8003

FAX番号 (022) - 215 - 0950

E-mail lib@seyogakuin.ac.jp

館長 (併)教授 安藤 等

【東北生活文化大学・東北生活文化大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (022) - 272 - 7518

FAX番号 (022) - 301 - 5601

E-mail library@mishima.ac.jp

館長 (併)教授 土井 豊

【ノースアジア大学附属図書館】

電話番号 (018) - 836 - 2407

FAX番号 (018) - 836 - 4402

E-mail naulib@nau.ac.jp

館長 (併)理事長総室長 佐々木 香
事務責任者 教務学生課長 山田 浩之**【東北芸術工科大学図書館】**

電話番号 (023) - 627 - 2044

FAX番号 (023) - 627 - 2085

E-mail library@aga.tuad.ac.jp

事務局教学事務室 専任職員図書館担当 沓澤 弘武

【羽陽学園短期大学附属図書館】

電話番号 (023) - 655 - 2385

FAX番号 (023) - 655 - 2844

E-mail tosho@uyo.ac.jp

館長 (併)教授 田中 ふみ子
係長 高橋 明子

【東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館】

電話番号 (023) - 688 - 7544

FAX番号 (023) - 688 - 6438

E-mail library@t-bunkyo.ac.jp

館長 教授 熊谷 義隆
事務責任者 課長 和田 美幸

【東北公益文科大学図書館】

電話番号 (0234) - 41 - 1177

FAX番号 (0234) - 41 - 1173

E-mail media@koeki-u.ac.jp

図書館長 (併)教授 遠山 茂樹

【いわき明星大学図書館】

電話番号 (0246) - 29 - 7121

FAX番号 (0246) - 29 - 5001

E-mail library@iwakimu.ac.jp

館長 (併)教授 東 之弘
事務責任者 附属教育研究機関統括事務センター長
小 椋 幸二

【奥羽大学図書館】

電話番号 (024) - 932 - 8931

FAX番号 (024) - 932 - 8944

E-mail ohu-lib@jim.ohu-u.ac.jp

図書館長 安藤 勝
事務責任者 係長 佐藤 夏美

【郡山女子大学図書館】

電話番号 (024) - 932 - 4848

FAX番号 (024) - 924 - 1394

E-mail library@koriyama-kgc.ac.jp

館長 (併)教授 野沢 謙治
副館長 (併)教授 二宮 和比古
司書係長 (併)非常勤講師 和知 剛

【東日本国際大学・いわき短期大学昌平図書館】

電話番号 (0246) - 35 - 0416

FAX番号 (0246) - 41 - 7025

E-mail lib@tonichi-kokusai-u.ac.jp

館長 (併)教授 北見 正伸
事務責任者 課長補佐 織内 春江

【日本大学工学部図書館】

電話番号 (024) - 956 - 8642

FAX番号 (024) - 956 - 8869

E-mail tosyokan@ao.ce.nihon-u.ac.jp

図書館長 (併)教授 西園 敏弘
事務責任者 図書館事務課長 永井 義章

【桜の聖母短期大学図書館情報センター】

電話番号 (024) - 534 - 7137

FAX番号 (024) - 531 - 2320

E-mail lib-c@ssjc.ac.jp

センター長 (併)教授 二瓶 由美子
図書館情報学責任者 助 教 木川田 朱美
事務責任者 司 書 佐藤 愛美

【福島学院大学図書館情報センター】

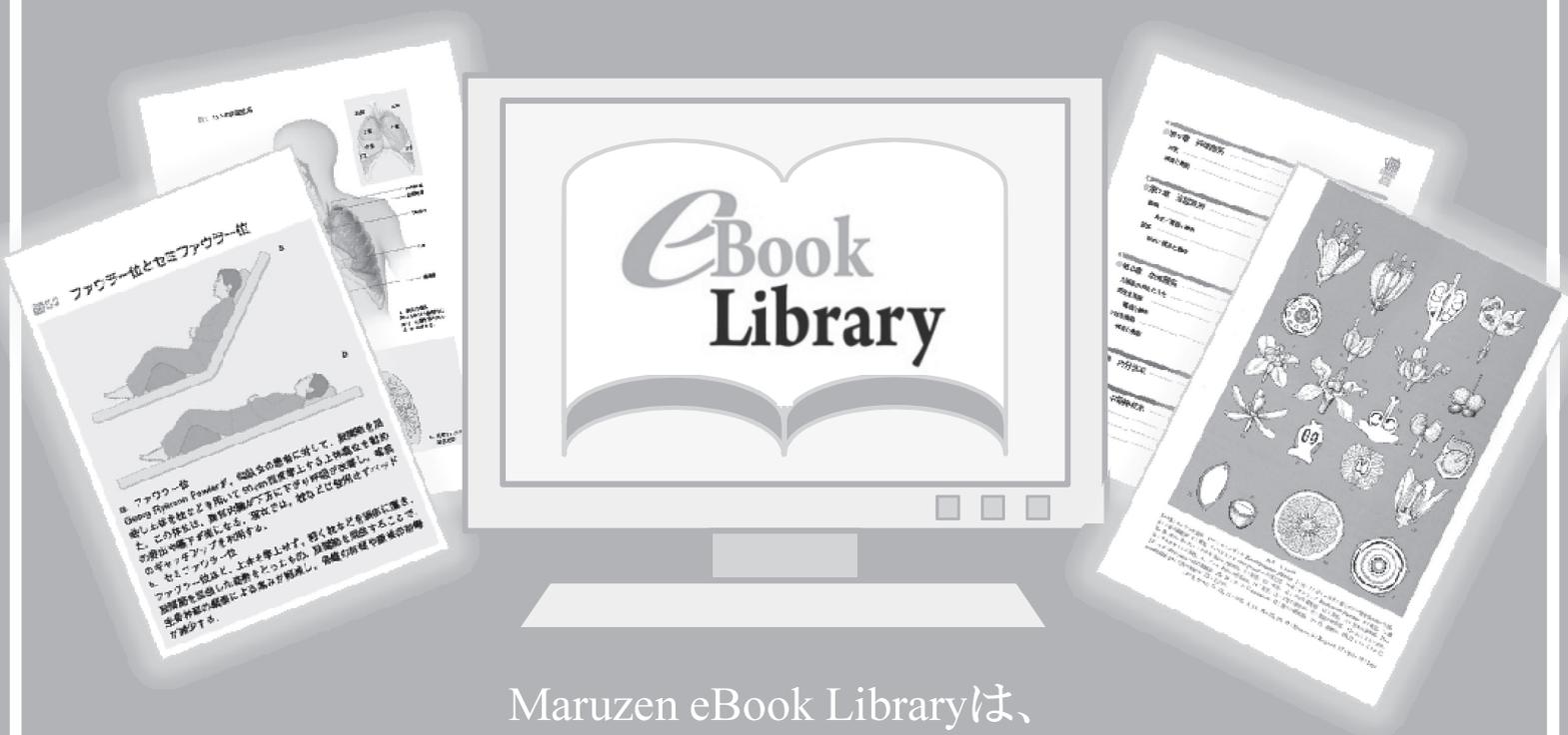
電話番号 (024) - 553 - 2087

FAX番号 (024) - 553 - 8253

E-mail tosho@fukushima-college.ac.jp

図書館長 (併)准教授 呂 学如
事務責任者 業務課長 佐藤 幸

パソコンから閲覧できる 図書があります



Maruzen eBook Libraryは、
学術分野の図書が読める電子書籍サイトです。
レポート、論文作成にぜひお役立てください。

ダウンロード
・印刷

本文
キーワード
検索

シリーズ本
横断検索

書誌情報の
ダウンロード

簡単アクセス

<https://elib.maruzen.co.jp>



URLからアクセス

上記URLにアクセスして「購読契約タイトル一覧」をクリック
>書籍一覧ページ>「閲覧」ボタンで本文が開きます。

(購読契約タイトル一覧)

クリック★

検索



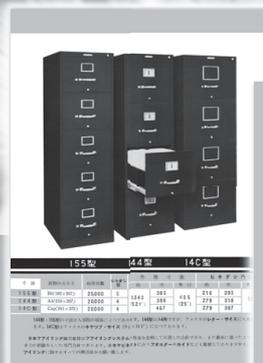
図書館HPからアクセス

図書館のトップページにアクセス>電子書籍へのリンク「※ここにリンク名を入力
ください」をクリック>書籍一覧ページが開きます。

90th anniversary

おかげさまで、 日本ファイリングは 創業90周年。

日本ファイリングは創業以来、
多くのお客様に支えられてまいりました。
そしてこれからも、100年企業を目指して、
図書館総合メーカーとして
一步一步前進してまいります。



よりよい保管システムを提供する



日本ファイリング

日本ファイリング株式会社

本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2

支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
ISO9001
認証取得企業

お申込み・お問い合わせ

<http://www.nipponfiling.co.jp>

☎0120-808-977

※電話受付: 月~金(土・日・祝日を除く) 9:00~17:00

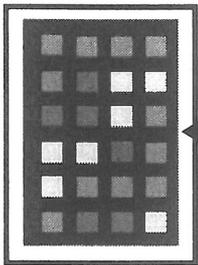
N-CLASS

Nakabayashi ChameleonCode Library Assist Solution
とカメレオンコード[®]がお客様の蔵書管理の課題を解決致します

カメレオンコード[®]とは？

カメレオンコードはシアン・マゼンタ・イエロー・ブラックを使用した、非接触で認識が可能な次世代のカラーバーコードです。

離れた場所からカメラをかざすだけで、高速・高精度の複数認識が可能で、RFID（無線 IC タグ）に代わる新たな認識技術として様々な分野への活用が始まっています。



0030
0000
0030

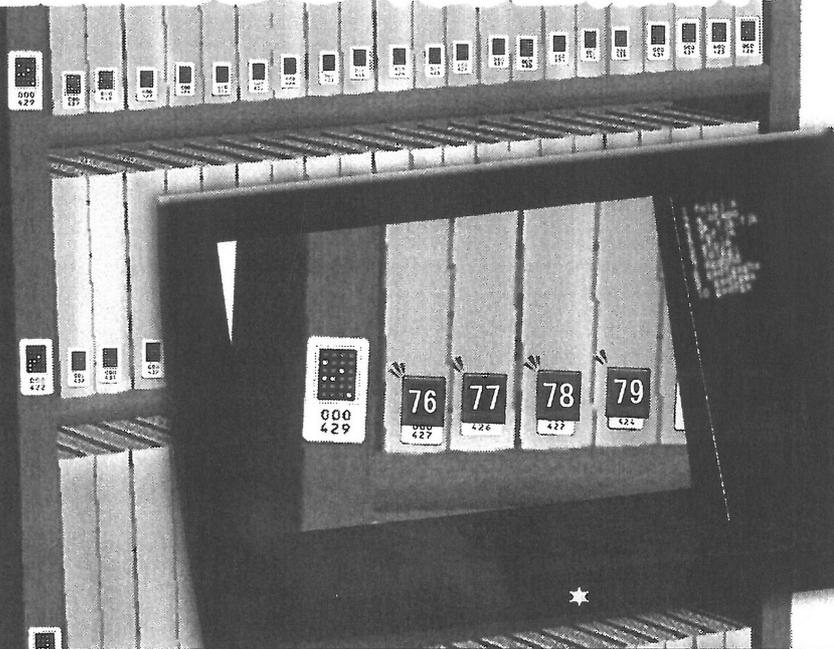
カメレオンコード[®]

実寸大

カメラで撮影したコードを一括認識させて蔵書点検！

カメレオンコード導入のメリットは？

- ・一括、高速認識機能を活かしてバーコードでの蔵書点検よりも効率化が可能になります。
- ・IC タグと似た性質を持ちますが、印刷物のためより安価でご提供致します。
- ・その他所蔵資料、文書管理等の管理にもご利用頂くことができます。



ナカバヤシ株式会社 図書館ソリューション営業部

仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東1丁目6-27 TEL:022-284-3045 FAX:022-239-7550

東京本社 〒174-8602 東京都板橋区東坂下2丁目5-1 TEL:03-3558-1251 FAX:03-3558-1260

大阪支社 〒536-0005 大阪市城東区中央2丁目1-23 TEL:06-6930-6668 FAX:06-6935-2667

名古屋支社 〒456-0053 名古屋市熱田区一番2丁目2-6 TEL:052-661-3771 FAX:052-661-3775

福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7-11 TEL:092-641-3661 FAX:092-641-3699

あらゆる分野の研究に必須の基礎資料

J-DAC
Japan Digital Archives Center

オンライン版 都道府県統計書データベース Prefectural Statistics Online



2015年5月
東日本
リリース

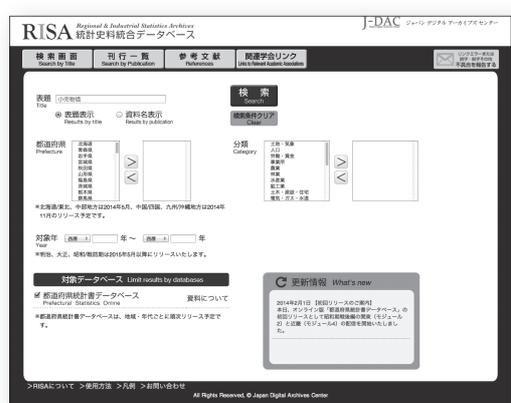
- 〈第1弾〉5月リリース
- ・北海道／東北
 - ・関東
 - ・中部
- 〈第2弾〉11月リリース
- ・近畿
 - ・中国／四国
 - ・九州／沖縄

昭和期戦前編

収録地域：全国47都道府県
収録年代：昭和2年～昭和19年
収録画像数：約**29万**画像 (JPEG形式)
収録レコード数：約**34万**件

セット定価 **1,800,000円+税**

※ご契約時には年間プラットフォーム利用料がかかります。
詳細はお問い合わせ下さい。



http://j-dac.jp/RISA

ご契約なしで 全件検索が可能！

今すぐアクセスして、
検索の利便性をぜひご体験ください。

※資料画像の閲覧にはご契約もしくはトライアルの
設定が必要となります。

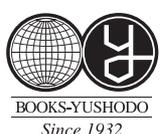
【1ヵ月無料トライアルのお申し込み方法】

- ① 右記のサイトにアクセスする <http://www.yushodo.co.jp/book/ps0/>
- ② トライアルお申し込みボタンをクリックする
- ③ 必要事項を記入する
- ④ 確認ボタン→送信ボタンをクリックする

※トライアルの設定には通常2~3営業日いただいております。



携帯、スマートフォン
お使いの方はこちらから



株式会社 雄松堂書店

本社：〒160-0002 東京都新宿区坂町27 Tel: 03-3357-1411 Fax: 03-3356-8730 E-mail: sales@yushodo.co.jp
 京都：〒604-8101 京都市中京区御池通柳馬場角 京都朝日ビルディング5F Tel: 075-222-0165 Fax: 075-256-2032
 E-mail: kb@yushodo.co.jp

公費請求書の決済に対応する BookWeb Pro が 電子書籍の購入もサポート致します！

研究者・図書館・法人のお客様の
ためのオンラインストア

■ 紀伊國屋書店
BookWeb Pro



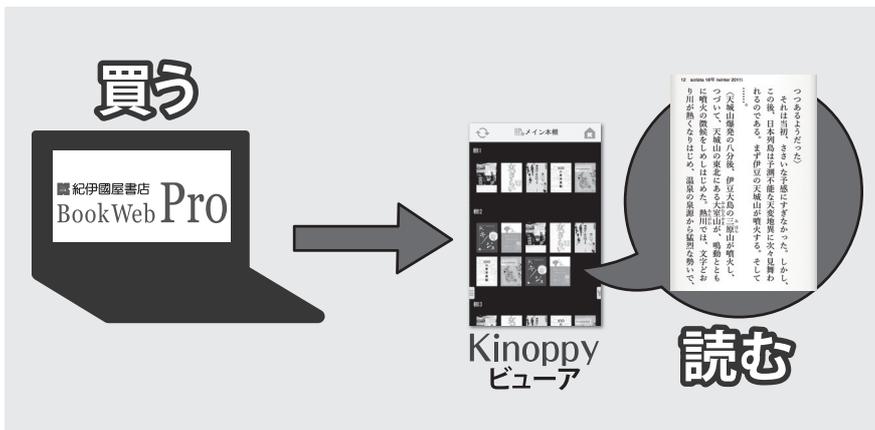
紀伊國屋書店電子書籍アプリ

Kinoppo

<https://pro.kinokuniya.co.jp>



BookWeb Pro では、法人所属の個人のお客様に国内電子書籍 Kinoppo の
タイトルを公費請求書決済でご購入いただけるサービスを開始致しました。



■ BookWeb Proからご購入頂きます
と法人のお客様ごとに合わせた
書式でご請求書をおだしします。

■ ご購入いただいた電子書籍は、
多くのお客様からご好評いただい
ている電子書籍アプリ Kinoppo の上
で閲覧・本棚管理をして頂けます。

■ マルチデバイス対応！

＜対応機種＞

Mac, iPad, iPad mini, iPhone,
iPod Touch, Android タブレット
Android スマートフォン, Windows,
Windows タブレット

ご購入頂いた電子書籍は多様な端末
で再購入なしにお読み頂けます。

スマートフォンやタブレットを買い
替えたり、本棚から誤って削除して
しまったりした時にも、紀伊國屋書
店でお買い上げ頂いた電子書籍はな
くなりません。



※電子書籍の公費購入は、ご所属法人の決済規定にも左右されます。会計ご担当者様にもご確認ください。
※電子書籍Kinoppoは出版社、著作権者様からの許諾条件に則し、個人での利用に限定されます。

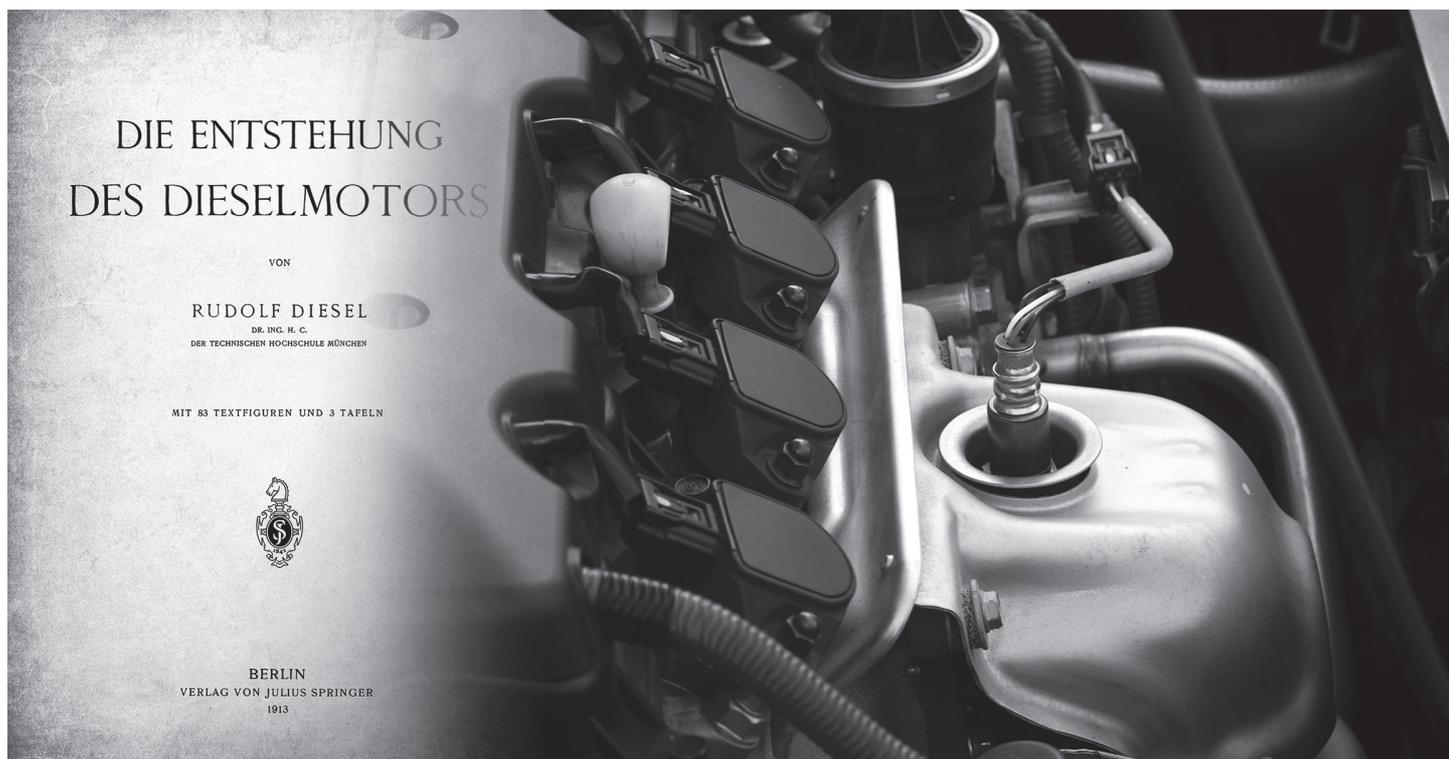
BOOKS
KINOKUNIYA
紀伊國屋書店

仙台営業所 | 仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービルディング 2F Tel: 022-227-0301
弘前営業所 | 弘前市土手町 126 Tel: 0172-36-3755



見つめているのは、
人びとの暮らしです。

人びとが安全・安心で豊かに暮らせる社会のために、
私たちは先進的なICTで貢献します。



ルドルフ・ディーゼルが選んだのも、 シュプリンガーでした。

シュプリンガー・フェアラーク

1842年に Springer-Verlag としてベルリンに設立されたシュプリンガーは、
世界トップレベルの科学出版社の代名詞とされ、1913年にかのルドルフ・ディーゼルが
いかにしてディーゼル・エンジンを生み出したかを著した、
“Die Entstehung des Dieselmotors” を出版したのもシュプリンガーでした。

ほかにもローベルト・コッホ、フェルディナント・ザウアーブルッフ、
ヴェルナー・フォン・ジーメンス、マックス・ボルン、オットー・ハーン、
アルベルト・アインシュタインなど、多数の偉大な科学者が
シュプリンガーの著者として名を連ねてきました。

2015年1月現在、出版物の中には200人以上ものノーベル賞受賞者の著作が含まれており、
その事実はシュプリンガーの伝統と質の高さを証明していると言えるでしょう。

日本の研究を世界へ、世界の研究を日本へ

シュプリンガー・ジャパン株式会社

Since
1842

シュプリンガー・ジャパン株式会社 マーケティング部 ● 所在地: 〒101-0065 東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館
● 電話: 03-6831-7013 ● ファックス: 03-6831-7006 ● 電子メール: market@springer.jp ● グローバル・サイト: springer.com ● ローカル・サイト: springer.jp
● Twitter: twitter.com/SpringerJapan ● Facebook: facebook.com/SpringerJapan ● YouTube: youtube.com/SpringerJapanVideos

Japan Knowledge Lib

http://japanknowledge.com/library/

日本最大規模の知識データベース コンテンツ 50 以上 総項目数 270 万 総文字数 16 億



公共図書館でのレファレンス、 利用者セミナーに！

レポート・論文作成を 強力にサポート！

ジャパンナレッジとは……日本有数の百科事典や辞書類が持つ膨大な知識情報を収録したインターネットデータベースです。日本語や英語にとどまらない様々な言葉の辞典から、史実を深く掘り下げた歴史事典、「東洋文庫」などの叢書まで、あらゆる項目の一括検索が可能です。まさに欲しい知識が素早く検索できる自分だけの図書館です。

2015年7月 コンテンツ追加予定

項目数最多を誇る 二大辞典がついに登場！

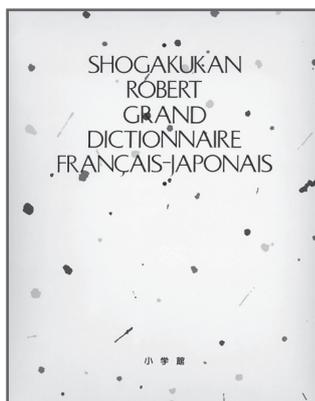
ロベール仏和辞典 独和辞典 (第2版)
【小学館】 【小学館】

見出し語数 12万

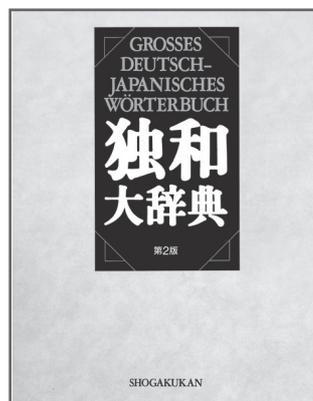
用例総数 25万

見出し語数 16万

用例総数 18万



フランス語辞典の権威、ロベール社と小学館の共同編集で完成した本格的仏和辞典。一般語6万と専門語4万、さらに新語、略語、固有名詞、俗語、隠語など、総12万語を収録。初心者から専門家まであらゆる利用者の要望に応えます。



我が国最大規模の本格的なドイツ語辞典です。人名・地名をはじめ、動植物名などの専門語も採録し、百科事典級の機能も持ち合わせています。その数、実に16万語。
※本コンテンツは、旧正書法に従っております。

※開発の都合により、予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。

■お問い合わせ先

NetAdvance 小学館グループ 株式会社ネットアドバンス

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-30 昭和ビル 3F e-mail: b2b@japanknowledge.com

知的創造性を高め、感性を刺激する空間。
ライブラリーは知の集積から双方向コミュニケーションの場へ。



図書ラウンジ

ユビキタスネットワーク社会における新しいライブラリーの創造に向け、
イトーキは知的好奇心や感性を刺激する先進空間づくりを総合的に提案します。

シンプルで機能的な構成で、進化する図書館
ニーズにフレキシブルに対応するライブラリー家
具。さまざまな空間にマッチする質の高い意匠
性と拡張性で、先進の図書館をサポートします。



閲覧テーブル



書架



サービスカウンター



LANシート

通信の電波をシート内に封じ込め、シート上に置いたPCのみ
ネットワーク通信が可能となる新しいLANシステム。「コネク
トレス」「セキュリティ」「簡単導入」を同時に実現します。

株式会社イトーキ

東北支店 仙台市青葉区一番町3-3-20 損保ジャパン仙台一番町ビル 〒980-0811 Tel.022-266-3511
お客様相談センター ☎0120-164177 URL <http://www.itoki.jp/>

完全無人状態で24時間運用可能！
**図書館職員の負担軽減が
 利用者へのサービス向上につながります。**

メディアランナーは、

無人貸出

自動棚卸

予約本優先貸出

という3つの機能を日本で初めて実現した、新時代の自動書庫です。



◎無人貸出

図書の貸出・返却は、利用者自身が簡単な操作で行えます。

- ・タッチパネルによる簡単操作
- ・誤操作を常時チェック



◎自動棚卸

自動書庫内の蔵書点検作業を自動で行うことが可能です。

- ・ICリーダーによる自動点検
- ・自動化により図書館職員の作業負担を軽減し、利用者サービス向上へ



◎予約本優先取出

事前予約された図書は速やかに出庫されます。

- ・予約図書をステーション近くに一時保管
- ・取り回しのきく垂直回転棚が効果を発揮

快適な空間を創造・ご提案

※トータルプランニングから設計・施工迄

- ・経験豊富なスタッフが対応します。
- ・安心・安全・エコな商品を提供します。
- ・スピーディーな対応をいたします。



営業品目

木製家具・事務用家具・間仕切家具
内装工事(壁・床)・カーテン・ブラインド工事
看板サイン工事・アクリル・ステンレス加工
図書用品・家具リニューアル
建築工事一式・リフォーム工事(レイアウト変更)

取引メーカー

- ・株式会社 天童木工・カリモク家具㈱・ナゼロ㈱・㈱アダル
- ・㈱イトーキ・愛知㈱・コクヨ東北販売㈱・アイリスチトセ㈱
- ・㈱スミノエ・㈱川島織物セルコン・立川ブラインド工業㈱
- ・トーソー㈱・㈱品川アート・プロ



大沼クリエーションサービス株式会社

<http://www.onuma-cs.co.jp/>

建設業 国土交通大臣認可(般25・第25354号)

本社 〒990-8571 山形県山形市七日町一丁目2番30号

仙台営業所 〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町七丁目5番20号

TEL 022(290)5461 FAX 022(290)5462

山形営業所 〒990-0043 山形県山形市本町一丁目9番6号 2F

TEL 023(642)1390 FAX 023(642)1392

大沼企業グループ/大沼百貨店・山形本店・米沢店・オーヌマガフトショップ新庄店・㈱大沼保険事業部

東北地区大学図書館協議会誌 第 66 号

平成 27 年 4 月

発 行 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館内
東北地区大学図書館協議会
☎ (022) 795-5910
編 集 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学附属図書館
